

第5次加西市総合計画

加西の元気力

～加西の良さを活かした元気力の追求～

後期基本計画

(平成28年度～平成32年度)



平成28年3月

加西市

5万人都市再生をめざして

本市では、平成23年10月に第5次加西市総合計画を策定し、「加西の元気力～加西の良さを活かした元気力の追求～」を掲げ、暮らしやすく住み続けたいまちの実現をめざして、人づくり、産業、くらし、環境及び地域経営の5つの視点から様々な施策を実施してまいりました。



この間、少子高齢化や人口減少の進展など本市だけでなく日本全体が厳しい状況にあり、5万人都市再生に向けては、市民・企業・団体等が一体となり、さらに活性化を図ることが課題となっています。そのためには地域に潜在する資源を見つめ直し、地域の人材や資金を創意工夫し有効に活用していくことが大切です。そして、全国的に地域創生が本格化する中、今まさに、加西独自の個性を活かした特色あるまちづくりが求められています。

本計画は、前期基本計画期間の終了に伴い、社会経済状況の変化やこれまでの施策の成果等を踏まえ、選択と集中により見直しを行うとともに、加西市地域創生戦略において定めた取り組み等を新たに盛り込み、誰もが活躍できる暮らしやすいまちづくりに必要な施策を後期基本計画として策定するものです。

この計画に基づき、今後5年間のまちづくりを着実に推進するとともに、特に必要性が高く、分野を横断するような施策群を6つの重点プロジェクトとして位置づけ展開することとしています。本市ならではの歴史や伝統文化など、独自の魅力や価値を高め、加西市だからこそできる取り組みをより一層進めていく必要があります。そして、地域に誇りや愛着を抱く「シビックプライドの醸成」を図り、地域の皆様や団体等とともに力を合わせて加西に住みたい人、住み続けたいと思う人を増やしていかなければならないと考えています。

最後に、本計画の策定にあたり貴重なご意見、ご提案をいただきました市民や市議会の皆様をはじめ、ご協力いただきました第5次加西市総合計画審議会委員の皆様方に心から感謝申し上げます。

平成28年3月

加西市長 西村 和平

【目次】

第1部 序論.....	1
1 総合計画の概要.....	2
2 後期基本計画策定の背景.....	3
3 加西市前期基本計画の評価と検証.....	4
4 基本計画見直しの方針.....	5
第2部 計画の概要.....	7
1 計画の構成・期間・役割分担.....	8
2 めざすまちの姿.....	9
3 人口の見通し.....	10
4 重点プロジェクト.....	11
5 5つの政策体系と施策概要.....	13
6 計画の推進にあたって.....	16
第3部 後期基本計画.....	17
1 めざす都市像.....	19
2 重点プロジェクト.....	20
(1) 地域ぐるみの子育て応援プロジェクト.....	20
(2) 若者・女性等の定住促進プロジェクト.....	20
(3) 次代を担う産業創出プロジェクト.....	20
(4) 高齢者等が活躍できる社会推進プロジェクト.....	21
(5) 暮らしやすいまちづくり推進プロジェクト.....	21
(6) シビックプライド醸成プロジェクト.....	21
3 施策の展開.....	22
基本政策1 子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西.....	24
施策01 誰もが学べる学習環境づくり.....	24
施策02 主体的な青少年活動.....	26
施策03 地域で楽しめる体カづくり.....	28
施策04 出会いを求める若者の応援.....	30
施策05 特色ある教育.....	32
施策06 安全安心で潤いのある学校.....	34
施策07 地域に開かれた学校づくり.....	36
基本政策2 雇用と経済が元気を取り戻す加西.....	38
施策08 裾野の広い農業の育成.....	38
施策09 地域資源を活用した産業振興.....	40
施策10 加西に住んで働ける就労支援.....	42
施策11 加西らしい観光サービス.....	44
施策12 魅力ある中心市街地の形成.....	46
施策13 周辺地域の定住促進.....	48
施策14 公共交通網の構築.....	50
施策15 住みよい住環境.....	52

基本政策3	誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西	54
施策16	社会参加を通じた生きがいづくり	54
施策17	こころとからだの健康づくり	56
施策18	地域医療体制の充実	58
施策19	地域で支え合う安心の暮らし	60
施策20	防犯・防災のまちづくり	62
施策21	安心できる子育て支援	64
基本政策4	地球に優しい環境都市加西	68
施策22	自然と共生する里地里山づくり	68
施策23	加西の風土を活かした景観づくり	70
施策24	省エネ・蓄エネ・創エネの推進	72
施策25	水環境のまちづくり	74
施策26	ゴミ減量と資源リサイクルの推進	76
施策27	環境学習の推進	78
基本政策5	パートナーシップによる地域経営	80
施策28	情報公開と住民自治のまちづくり	80
施策29	自己実現と共生のまちづくり	82
施策30	行政サービスの向上と効率経営	84
第4部	計画の総合的推進	87
1	財政の見直し	88
2	土地利用構想	89
	(1)土地利用の基本方針	89
	(2)土地利用の考え方	89
3	推進体制	91
	(1)協働による計画推進	91
	(2)庁内体制	91
4	進捗管理	92
	(1)PDCAサイクルによる進捗管理	92
	(2)予算・財政計画との連動	92
5	評価・見直し	92
資料編		93
◇	諮問書	94
◇	答申書	95
◇	総合計画審議会設置要綱	97
◇	総合計画審議会委員	99
◇	策定の経過	100

第1部 序論



幻想的なバルーングロー（夜間係留）／玉丘史跡公園

1 総合計画の概要

総合計画は、加西のまちづくりの基本となる最も重要な計画であり、各分野ごとの個別計画の最上位計画となります。そのため、市の将来像を設定し、その実現に向けて、住民はもとより市役所、企業、NPO（民間非営利活動団体）等、加西市内の様々な主体が、これから取り組むべきまちづくりの方向を示すものです。

人口減少や地球温暖化、大規模自然災害の発生、情報通信技術の発展等、社会・経済・産業や人々の暮らしは変化し続けており、将来動向の把握とその対応にあたって、より長期的な展望が求められる時代となっています。

加西市では、本格的な人口減少社会が到来する中、人口問題や地域の活性化に対応するため、平成24年度より専門の組織を設置するとともにプロジェクトチームを設置し、5万人都市の再生に向け、他の団体に先駆けて子育て応援やUJIターンの支援、若年層向け住宅供給の充実等の対策を積極的に進めてきました。その結果、平成26年度は、17年ぶりに社会減が低水準となるとともに、隣接市町からは転入超過となる等一定の効果がみられる状況となってきています。

一方、平成26年11月に、国において「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、今後想定される人口減少に歯止めをかけ、東京圏への人口一極集中を是正するため、国・都道府県・市区町村が一体となって連携を図り、持続可能な社会をめざしていくことが示されました。

本市においても「加西市地域創生戦略」を策定し、人口の減少に歯止めをかけ、子育て世代の人口流入を図ることを基本としながら、将来にわたって市民が希望を持って心豊かに暮らすことができる持続可能な都市（サステイナブル・シティ）の実現をめざしています。

こうした状況を踏まえ、総合計画を人口確保の対策や地域活力の維持、加西市らしさを活かしたまちづくりを推進していくための指針として位置づけるとともに、人口増加対策に関わる取り組みについては、加西市地域創生戦略との整合を図りながら推進するものとし、5万人都市の再生をめざします。

この計画は、前期基本計画期間の終了に伴い、社会経済状況の変化や、これまでの施策の成果等を踏まえた見直しを行うとともに、加西市地域創生戦略において定めた取り組み等を新たに盛り込み、後期基本計画として策定するものです。

2 後期基本計画策定の背景

少子・高齢化の一層の進行に加え、リーマンショックからの景気立ち直りは道半ばと言え、地域の経済環境はまだまだ厳しい状況が続いています。また、平成23年3月の東日本大震災の発生以降、安全・安心への関心の高まりや、地域のつながりの重要性が再認識されるなど、住民意識の変化も見られるとともに、人口の年齢構成のバランス変化による地域への影響が懸念されています。

(1) 少子・高齢化の深化

出生数の減少に加え高齢者の増加を背景に自然減が定着するとともに、東京一極集中化の中、若年層の都市部への流出が依然として継続し、社会減による人口減少が続く状況となっています。

(2) 不透明な経済環境

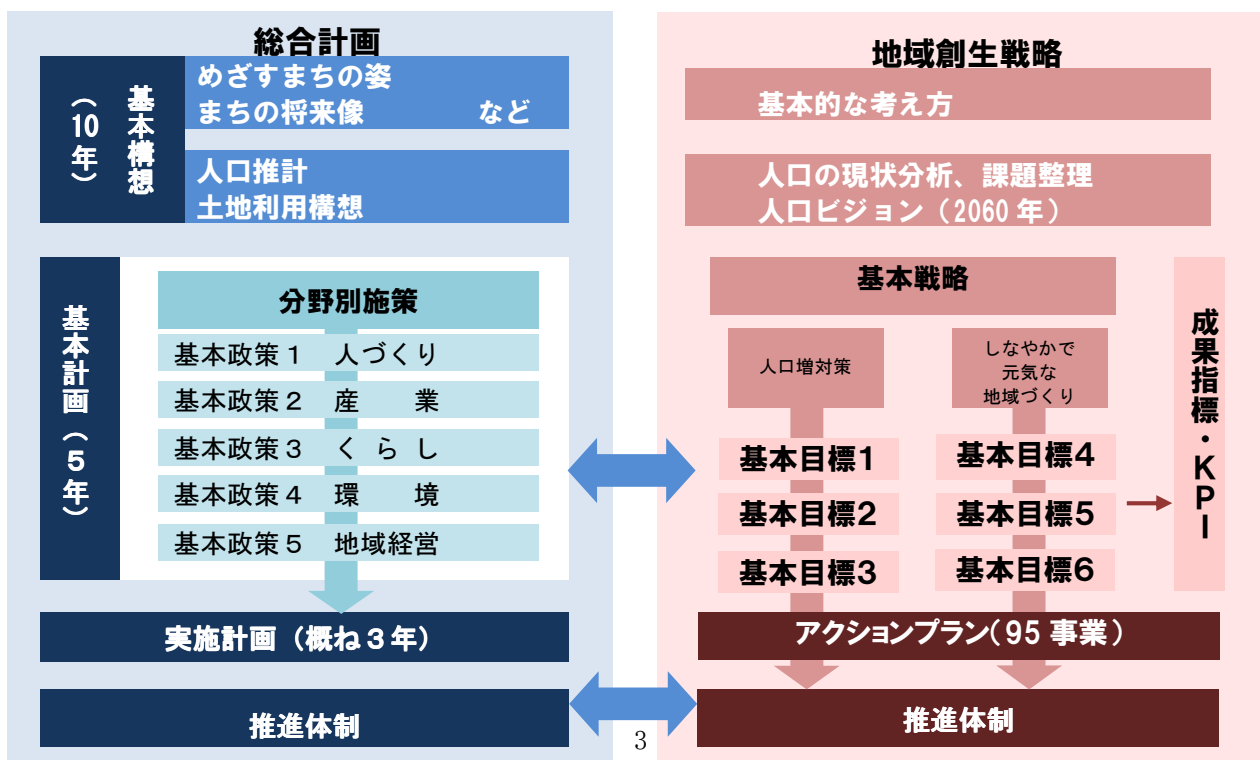
リーマンショックからの景気回復は、国等により様々な対策が取られていますが、経済成長の足取りは、地方では実感できる状況には程遠いものがあります。また、TPP導入の方向が定まりましたが、グローバル化が避けられない農業等への影響が懸念されるほか、技術動向面ではロボットやAI(人工知能)の活用が地域でも期待されます。

(3) 安全・安心意識の高まり

阪神・淡路大震災から20年以上が経過しましたが、東日本大震災からの復旧・復興では、地域コミュニティや人のつながりの大切さが改めて認識されるとともに、安全・安心への意識の高まりを見せています。

(4) 多様化する家族形態と地域の役割の変貌

核家族化の進行に加え、特に高齢者をはじめ単身世帯が着実に増加しており、家族のあり方や地域との関わりが改めて問われています。



3 加西市前期基本計画の評価と検証

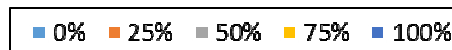
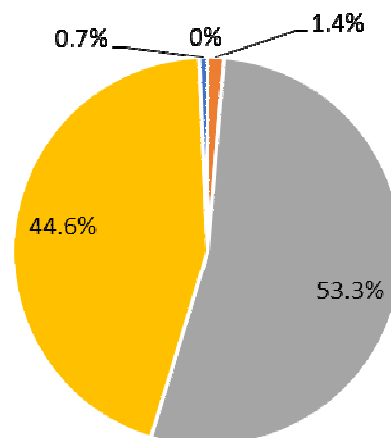
前期基本計画に掲げられた取り組み事業は全部で153事業ありました。そのうち148事業（※）の進捗状況を検証したところ、次の結果となりました。

全体進捗率は148事業についての達成度合いを「100%（完了・終了）」、「75%（概ね達成）」、「50%（進行途上）」、「25%（進捗の遅れ）」、「0%（未着手）」の5段階で評価しました。

全体として一番多いのは「50%（進行途上）」となり、次いで「75%（概ね達成）」となっています。基本政策2では50%に達している事業数が35と最も多くなっています。基本政策3では75%に達している事業数が25と最も多くなっています。

今回の見直しは、総合計画の前期終了に伴う中間見直しです。計画が順調に進んでいるということもあり、概ね50%を超える評価が多くなっています。施策ごとの進捗率から算出した平均値は、5つの柱の全体では61%となっています。

達成率	事業数	割合
0%	0	0%
25%	2	1.4%
50%	79	53.3%
75%	66	44.6%
100%	1	0.7%



基本政策	0%	25%	50%	75%	100%	全体の進捗率
1 子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西			9	15		66%
2 雇用と経済が元気を取り戻す加西		2	35	5		52%
3 誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西			12	25		67%
4 地球に優しい環境都市加西			13	14	1	64%
5 パートナーシップによる地域経営			10	7		60%
合計	0	2	79	66	1	61%

※全事業数は153事業であるが、数値による検証困難な5事業を除くと、検証が可能な事業数は148事業となる。

4 基本計画見直しの方針

本計画は、平成23年から平成32年までの10年間を見通した計画の後期計画として見直しを図ります。そのため、計画の骨格部分にあたる基本構想について、継承していきながら、時代の変化や地域創生戦略における検討状況を踏まえた内容の見直しを行います。

見直しにあたり、地域創生戦略の策定において実施した戦略会議での検討内容、事業所ヒアリング、各種調査結果等を踏まえるとともに、総合計画審議会及びパブリックコメント等において住民等の意見を反映するものとします。

(1) 前期計画の検証による重点的アプローチ

前期計画の事業検証を行い進捗を確認し、その成果や進捗状況を勘案の上、後期基本計画では、特に必要性が高く、分野を横断するような施策群について重点プロジェクトとして位置づけるものとします。

(2) 変化が激しい時代潮流への対応

前期計画策定後、時間の経過とともに、社会経済環境やまちの状況が変化しているため、見直しを図ることで状況に即した計画への見直しを行います。

(3) 市民・企業・団体等の協働

まちの方針を決める総合計画において市民・企業・団体等が主体的に関わっていくことが望まれます。協働を促し、まちの活性化へつなげていきます。

(4) 継続的な検証と見直し

個別の事業は行財政改革プランにて毎年度見直しを図ります。また地域創生戦略や都市計画マスタープラン等との整合を図り、PDCAサイクルによる検証や見直しを行います。

第2部 計画の概要



市の研修制度を利用し新規就農をめざす若者／ゴールデンベリーAの収穫

1 計画の構成・期間・役割分担

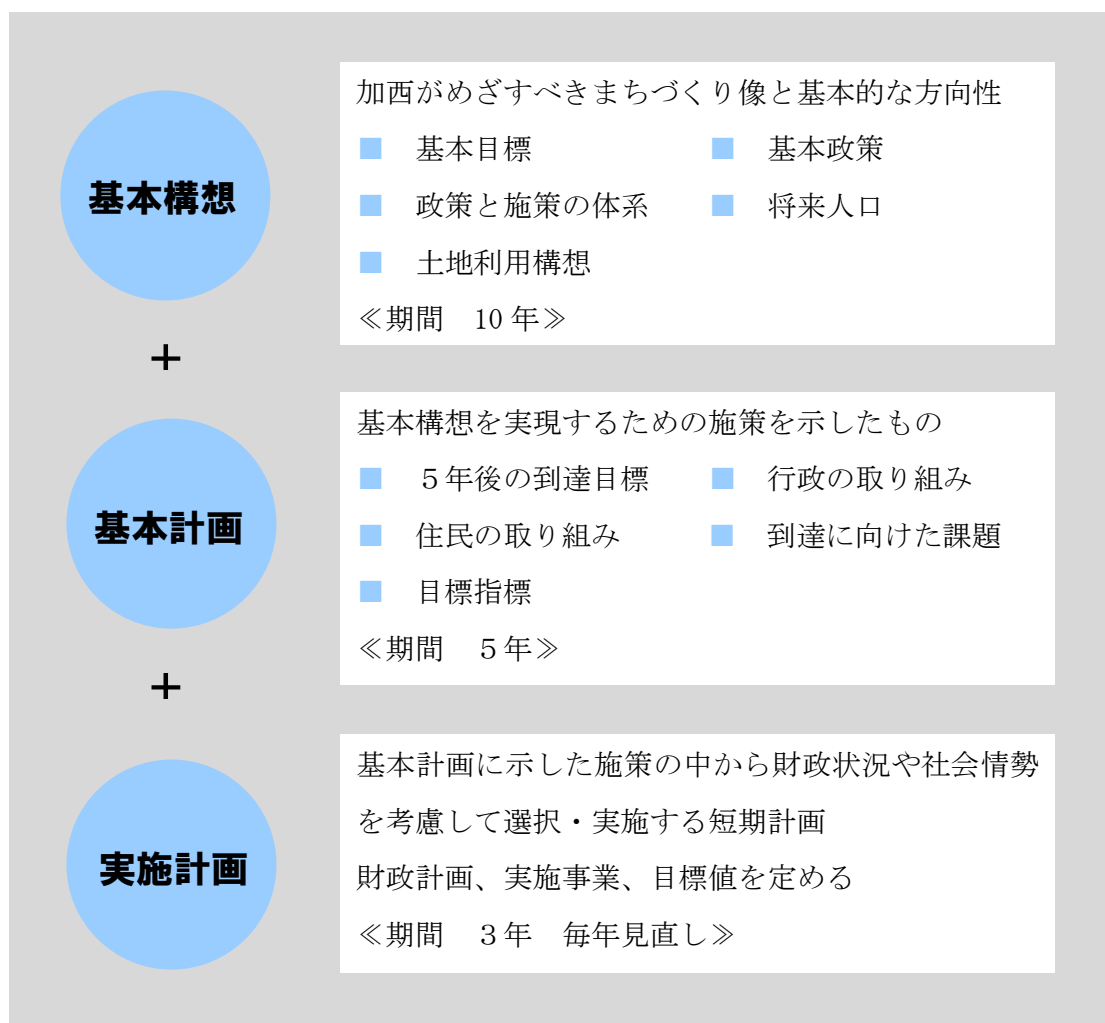
総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画によって構成されています。

基本構想は、加西がめざすべきまちづくり像と基本的な方向性を明らかにしたもので、平成32年を目標年次としています。

基本計画は、基本構想を実現するための施策を示したもので、平成28年から平成32年の5年間を後期基本計画とします。

実施計画は、基本計画に示した施策や事業の中から財政状況や社会情勢を考慮して選択し実施する計画で、毎年予算の指針となるものです。向こう3ヵ年の計画として毎年見直しを行います。

まちづくりは住民、事業者、行政等がそれぞれの役割を担うとともに、互いに連携・協力を図りながら進めることが効果的です。本計画では、行政が進める取り組みだけでなく住民の取り組みについても位置づけることで、協働によるまちづくりの推進をめざすものとしします。



2 めざすまちの姿

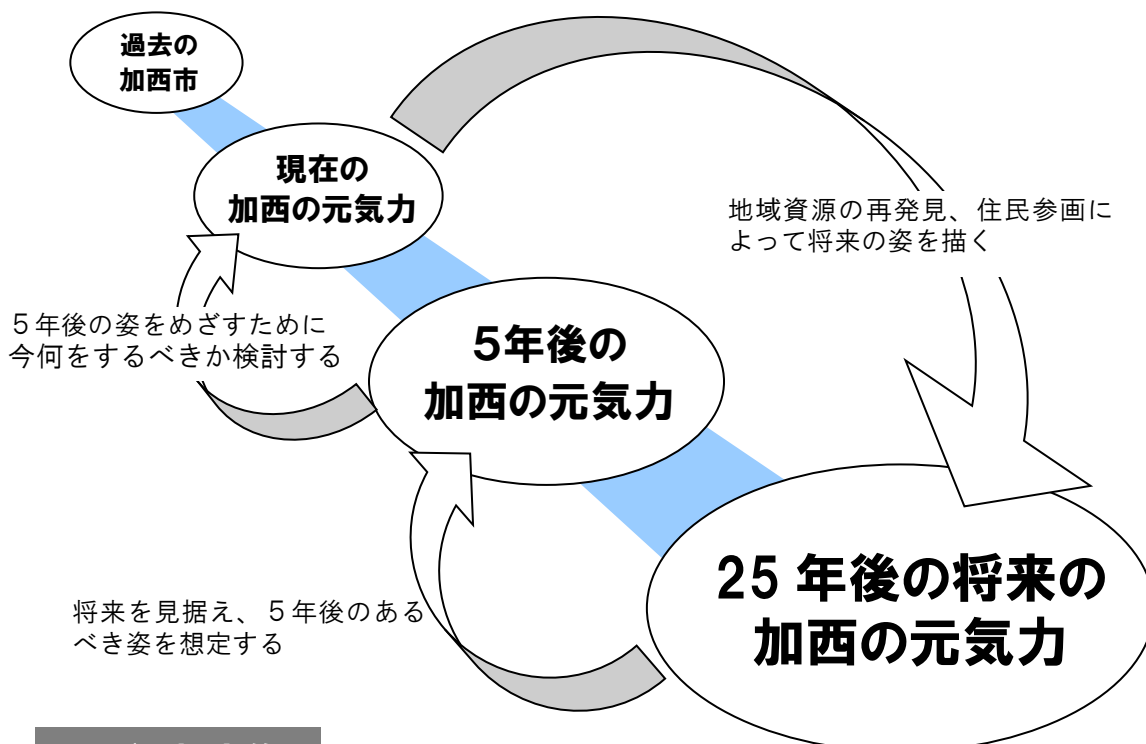
加西の元気力 ～加西の良さを活かした元気力の追求～

総合計画に基づく取り組みにより、私たちみんながめざすまちの姿として、今日よりも明日がさらによい日であるように、将来も健康で、みんなの元気があふれるまち加西をめざしていきます。

加西をさらに元気にするには、地元企業の技術力や人材、そして農産物や歴史資産、観光資源を再発見し、活用することが大切です。また、新たに加西市に移り住む人の住みやすさを向上していくことにより、今住んでいる人にとっても快適な生活の魅力を高めることにつながります。

「加西の良さを活かした元気力の追求」に向けて、住民をはじめ、市役所、企業、NPO等、加西市内の様々な主体が、「加西が将来にわたって元気であり続けること」を共通の目標としながら、手を取りあって、まちづくりを進めていきます。

そして、将来にわたり定住人口5万人を維持しながら、持続可能な都市をめざす目標の実現に向けて、未来型の魅力ある田舎「ミライナカ」として、本計画がめざす都市像を「多様なくらし 夢がかなう『^{ミライナカ}未来の田舎』かさい」とします。



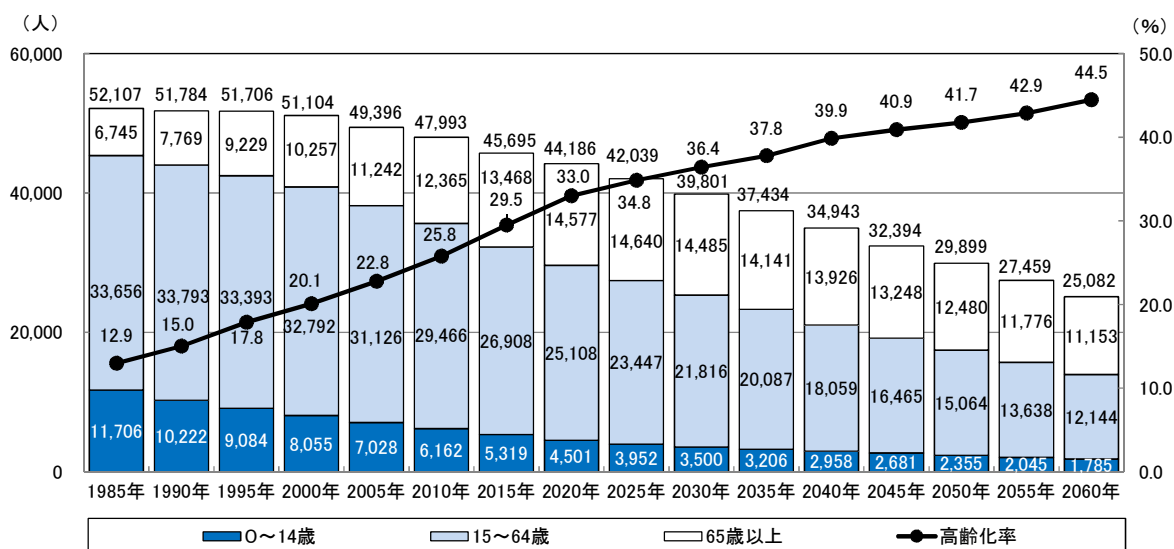
めざす都市像

多様なくらし 夢がかなう「^{ミライナカ}未来の田舎」かさい

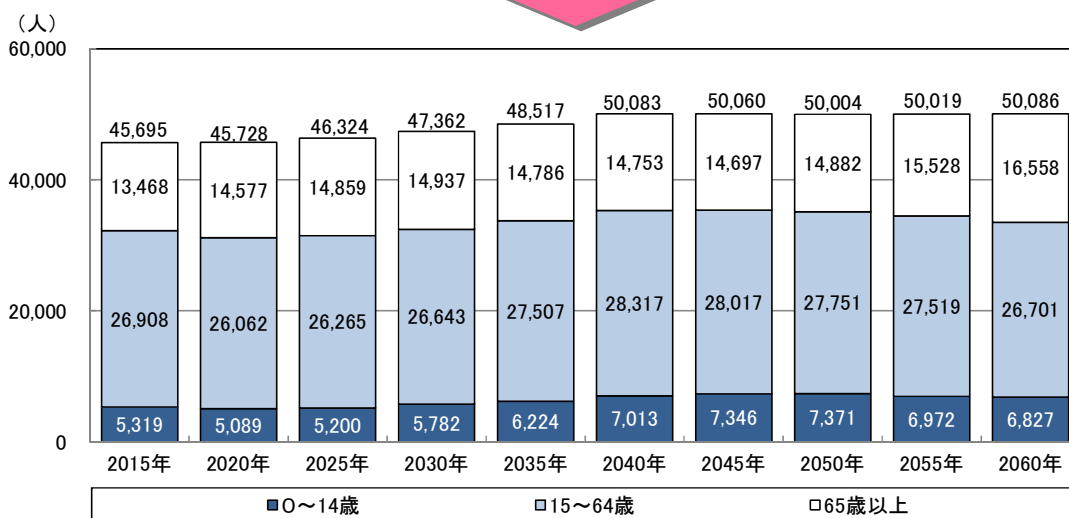
3 人口の見通し

人口の見通しは、これからのまちづくりを考える上で最も基礎的な指標となります。1985年（昭和60年）以降、減少し続けており、高齢化率は上昇しています。国立社会保障・人口問題研究所が示した将来人口推計では、2060年（平成72年）の人口は約25,000人になることが予測されています。

こうした状況の中、本市においては、本計画及び地域創生戦略に基づく施策を推進することにより、5万人都市の再生をめざすものとします。



資料：2000年～2010年は国勢調査、2015年は住民基本台帳人口（3月末現在）
2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所推計準拠ワークシートによる推計



資料：加西市地域創生戦略（人口ビジョン）

4 重点プロジェクト

地域創生戦略の方針を踏まえながら、後期計画では、特に重点的・横断的に取り組むべき6つの重点プロジェクトを位置づけ、推進を図るものとします。

(1) 地域ぐるみの子育て応援プロジェクト

地域社会全体で子どもを守り、のびのびと安心して育てられる環境づくりを進め、妊娠・出産から就学期まで、子どもに視点をおいた家庭・地域・学校等の連携による切れ目のない子育て応援を展開します。

(2) 若者・女性等の定住促進プロジェクト

若者や女性が夢を持って活躍できるまちづくりのため、若者等にとって働きがいを感じる仕事や魅力ある賑わい空間、出会いの場の確保を促進するとともに、職住近接型のライフスタイルを実現する移住・定住の支援を実施します。

(3) 次代を担う産業創出プロジェクト

加西を支える次世代産業を創出するまちづくりのため、ものづくり産業の特徴ある集積を活かし、農商工観連携やICT化等の新技術対応を支援し、加西の産業振興を進めます。

(4) 高齢者等が活躍できる社会推進プロジェクト

高齢者等一人ひとりが生きがいを感じ活躍する社会づくりをめざして、高齢者が自ら健康づくりに取り組み、能力を発揮できる仕組みを整備するとともに、高齢者・障がい者等の自立や就労を地域全体で支援します。

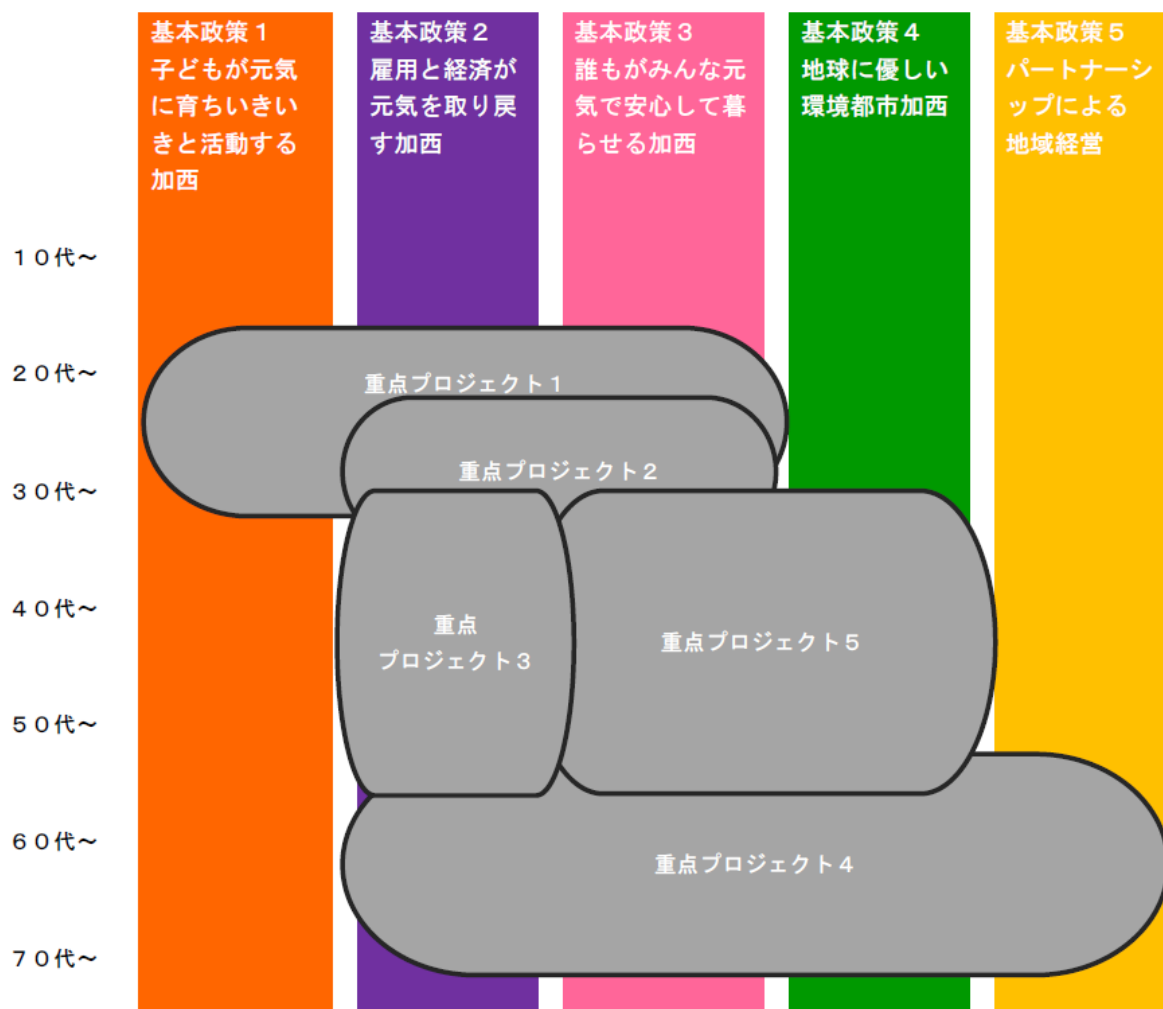
(5) 暮らしやすいまちづくり推進プロジェクト

安心して暮らし続けられる地域づくりに欠かせない、質の高い教育、魅力ある住環境、交通の利便性を弱者にも高める等、暮らしやすいまちづくりを実施します。

(6) シビックプライド醸成プロジェクト

子どもや若い世代を中心として加西に誇りと愛着を持てる環境をつくるため、魅力ある地域資源を発掘し市内外に魅力発信することにより、加西に住みたい人を増やし、住み続けたいと思える取り組みを進めます。

重点プロジェクトは、政策や年代（ライフステージ）に対して、広範囲にわたって対応しています。下図は簡単にプロジェクト範囲を示したものとなっています。



※重点プロジェクト6は、基本政策全般に関連するとともに全年代を対象としています。

5 5つの政策体系と施策概要

加西がめざすまちの姿や将来像を実現するため、住民生活の元気力を生み出す5つの視点から基本政策を掲げます。

人づくり の視点



子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西

加西の将来の元気を創っていくのは今の子どもたちです。子どもたちが「加西で育ってよかったなあ」と思えるよう、また、子育て世代が「加西市で子育てしたい」と思えるよう、学習環境や学校教育、地域の世代間交流を充実します。

産業 の視点



雇用と経済が元気を取り戻す加西

産業は加西の元気の源であり、安定した働き場所を確保することは定住人口の増加にもつながります。若者や女性等すべての人が働きやすく、ヒト・モノ・カネが地域に回るように事業者の育成、創業支援、企業誘致、地域ブランドの開発やPRにも取り組みます。

くらし の視点



誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西

加西にとって、住民が元気に暮らしていることが最も大切なことです。元気に暮らすとは、自分で歩き、自分で日常生活ができることです。子どもからお年寄りまで、誰もが安心して元気で“健幸”に暮らせるまちづくりをめざします。

環境 の視点



地球に優しい環境都市加西

加西の自然環境は、私たち自身で守り、次の世代へ引き継いでいかなければなりません。環境教育等を通じた意識改革により、住民による自然環境の保全や資源循環型のまちづくり等、地球環境にやさしい暮らし方の浸透を進めます。

経営 の視点



パートナーシップによる地域経営

本計画に基づくまちづくりを着実に推進し、その実効性を確保するためには、住民一人ひとりが自分の事として受け止め、取り組む必要があります。また、新たな行政課題への対応や社会環境の変革に対応した適切な行政運営を進めていきます。

基本政策は、めざす姿や将来像を実現するための政策と施策で構成されています。

基本政策

めざす姿
将来像

加西の元気力
多様なくらし
夢がかなう「未来の田舎」かさい
ミライナカ
加西の良さを活かした元気力の追求

人づくり



政策1 明日を担い
未来へつなげる人づくり

政策2 郷土に誇りを持てる
家庭・学校・地域の輪づくり

産業



政策3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり

政策4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり

くらし



政策5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり

政策6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり

環境



政策7 自然環境の保全と特色ある景観づくり

政策8 循環型社会をめざす生活環境づくり

地域経営



政策9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西

政策10 健全な行財政運営の確立

施策

主な施策の内容

施策01 誰もが学べる学習環境づくり
施策02 主体的な青少年活動
施策03 地域で楽しめる体力づくり
施策04 出合いを求める若者の応援

施策01 出前講座、芸術文化活動、地域での子どもの共育活動
施策02 若者広場事業、青少年団体連絡協議会の育成・支援
施策03 スポーツ・レクリエーション活動の推進
施策04 出合いサポート、交流機会創出

施策05 特色ある教育
施策06 安全安心で潤いのある学校
施策07 地域に開かれた学校づくり

施策05 保幼小・小中連携、特色ある部活、地元高校支援
施策06 学校施設の改修、単独調理場の統廃合
施策07 ゲストティーチャーの活用、学校教育活動等の情報発信

施策08 裾野の広い農業の育成
施策09 地域資源を活用した産業振興
施策10 加西に住んで働ける就労支援
施策11 加西らしい観光サービス

施策08 6次産業化、ICTを活用した施設園芸
施策09 特産品支援、地産地消、ホテル誘致、商業施設進出支援
施策10 求人情報、企業誘致、働く女性の雇用、UJターン促進
施策11 ツーリズム、田舎体験、観光拠点のネットワーク化

施策12 魅力ある中心市街地の形成
施策13 周辺地域の定住促進
施策14 公共交通網の構築
施策15 住みよい住環境

施策12 歩いて暮らせるまちづくり、住宅供給促進
施策13 鷓野飛行場跡地、かさいふたリズム、便利な田舎のPR
施策14 コミュニティバス、北条鉄道の利用促進
施策15 主要幹線道等の整備、歩道の整備

施策16 社会参加を通じた生きがいがづくり
施策17 こころからだの健康づくり
施策18 地域医療体制の充実

施策16 高齢者講座、シルバー人材センター、老人クラブ活動
施策17 各種健診・検診、健康づくり拠点、歩くまちづくり
施策18 病診連携、産婦人科医院等誘致

施策19 地域で支え合う安心の暮らし
施策20 防犯・防災のまちづくり
施策21 安心できる子育て支援

施策19 各種介護・福祉サービス、地域包括支援センター
施策20 高齢者等救助、防災訓練・資器材等支援、防犯灯増設
施策21 地域ぐるみ子育て支援、保育料無料化、未来型児童館

施策22 自然と共生する里地里山づくり
施策23 加西の風土を活かした景観づくり

施策22 里山整備、有害鳥獣被害対策
施策23 ふるさと再発見、花咲くまちづくり

施策24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進
施策25 水環境のまちづくり
施策26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進
施策27 環境学習の推進

施策24 住宅用太陽光発電、グリーンハウス建設助成
施策25 水道事業の効率化・安定化・適正化
施策26 ゴミ処理の効率化・適正化、リサイクル
施策27 親子環境講座、環境学習リーダー養成講座

施策28 情報公開と住民自治のまちづくり
施策29 自己実現と共生のまちづくり

施策28 ふるさと創造会議、集落支援員配置
施策29 女性チャレンジ、ヒューマンフェスティバル

施策30 行政サービスの向上と効率経営

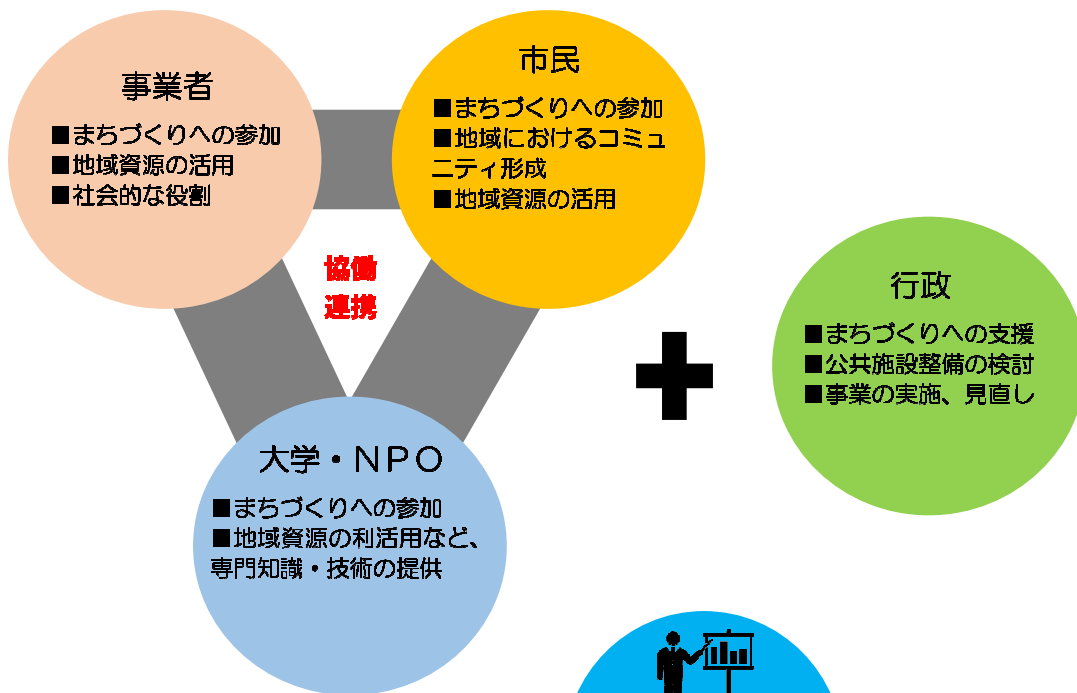
施策30 職員の重点配置、行財政改革プラン
事務処理の共同化(定住自立圏・連携中枢都市圏等)

6 計画の推進にあたって

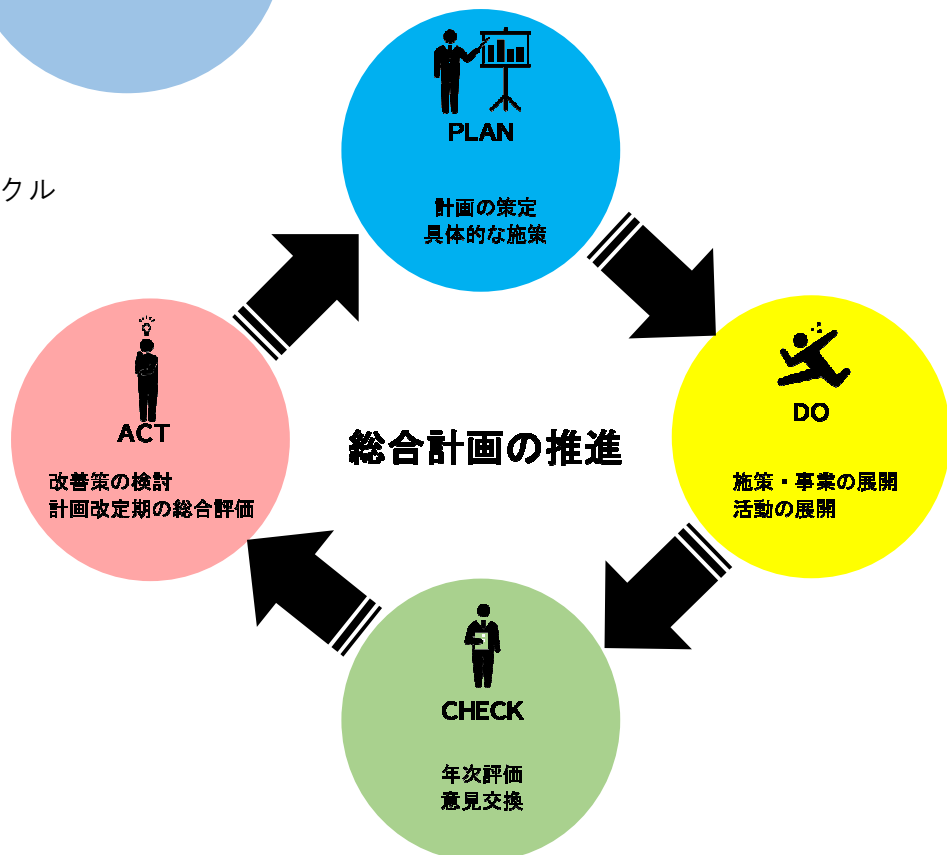
計画の推進にあたって、市民、事業者、各種団体等の幅広い主体の参加・参画を促進するとともに、行政との役割分担のもとでまちづくりを進めます。

また、P D C Aサイクルに基づく進捗管理を行うことにより、適切な評価・検証を踏まえた改善、次期計画の見直しにつなげていきます。

■役割分担



■P D C Aサイクル



第3部 後期基本計画



芝生広場に設置した大型遊具で遊ぶ子ども達／玉丘史跡公園

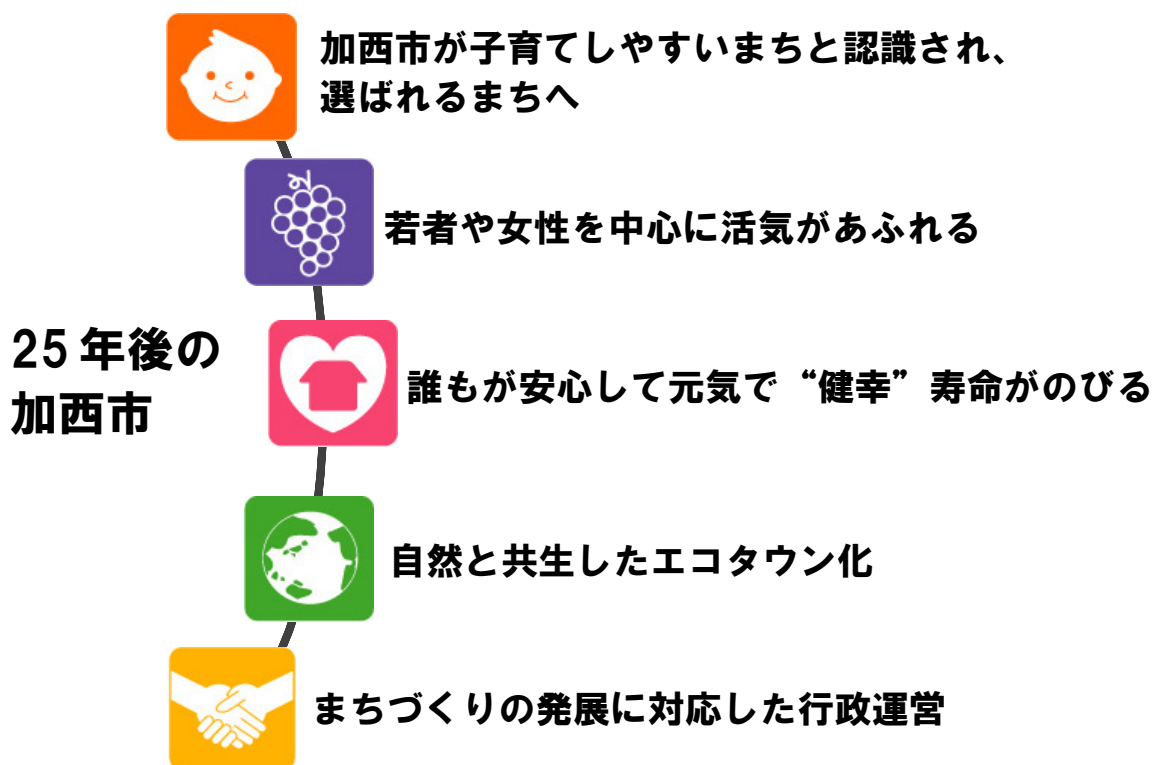
1 めざす都市像

本市は、播磨国風土記 1300 年の歴史と日本の原風景にふさわしい自然や田園に恵まれた地域資源と、交通や買い物の利便性等、生活に必要となる一定の機能を兼ね備えています。

こうした市の特徴を活かし、さらに魅力を磨くとともに、効果的に発信していくことで、安心して暮らし続けられるまちづくりをめざすこととし、まちの将来像を以下の通り設定します。

多様なくらし 夢がかなう「^{ミライナカ}未来の田舎」かさい

- 多様なくらし・・・ 一人ひとりのスタイルに合った生活。子育てや学び、仕事、地域活動、企業の事業活動等、こだわりのある多彩な活動ができる。
- 夢がかなう・・・ 希望や出会いを実現できる。思いをデザインして描ける、物語が生まれる。選んだ可能性にチャレンジし、夢を織りなす。
- 未来の田舎・・・ 緑豊かな環境の中で、ICT等を活用した利便性を実現。快適な田舎の魅力をいいね！と実感できる「ミライナカ」。



2 重点プロジェクト

(1) 地域ぐるみの子育て応援プロジェクト

家庭や仕事等の条件に関わらず、誰もが安全安心して子どもを生き育てられるまちをめざし、各種支援制度や地域全体で子どもを見守り育てる仕組みづくり、子育てのための地域組織づくりを行ってきました。

自由でのびのびと子どもを育てられる環境づくりをさらに進めていくため、子育て支援施策だけでなく、教育や医療、子育て中の親への支援等、幅広い分野の連携により、子育てを応援するサービスを展開します。

政策分野	主な取り組み
人づくり	土曜チャレンジ学習、保幼小・小中連携強化
産業	働く女性の雇用推進
暮らし	安心できる子育て支援（未来型児童館、保育料無料化、子育て応援企業）等

(2) 若者・女性等の定住促進プロジェクト

人口減少が続く本市では、若い世代の流出がその要因の一つとなっており、特に若年女性の減少は、その後の少子化に大きな影響を与えることとなります。

若者や女性が暮らしやすく、活躍できるまちづくりを推進するため、雇用・就業機会の確保や結婚支援、若者や女性が住みたいと思える賑わい空間等の環境づくりを行うことにより、都市部に流出してしまった人材の回帰、移住を加速させ、定住へとつなげられる施策を展開します。

政策分野	主な取り組み
人づくり	出会いを求める若者の応援
産業	UJI ターン促進、加西に住んで働ける就労支援(新卒者、勤労者定住ほか)、商業施設進出支援、再就職支援、かさいふたリズム、住宅分譲地整備 等

(3) 次代を担う産業創出プロジェクト

企業誘致、農業の6次産業化の取り組み、新規就農者、就労支援等、地域産業の発展に向けた取り組みを進めてきました。

観光・交流に関する産業の強化や、特産品のブランド化の推進等、加西市をPRするための産業や、ICT化等の新たな技術革新に対応するため、地域に根差した産業や市内企業に対する運営支援、新たな創業を促進するための支援等、これからの加西を支える産業を生き育てていく施策を展開します。

政策分野	主な取り組み
産業	新産業団地の整備、農業の6次産業化、農商工連携の推進、ICTを活用した施設園芸、中小企業事業資金融資、宿泊施設の充実とホテルの誘致、観光拠点のネットワーク化、鶉野飛行場跡地周辺 等

(4) 高齢者等が活躍できる社会推進プロジェクト

支援を必要とする高齢者等へのサービス提供はもちろん、社会参加を促進することにより、地域とのつながりを持ち、生きがいを持って暮らせるまちづくりに取り組んできました。

さらなる高齢者の増加が予想される中で、リタイア後の人材の社会参加を促進させ、生きがいを持って暮らすことで、健康状態を維持したり、認知症の高齢者や障がい者が地域の中で理解され、ともに暮らすことができるまちづくりを進めます。

政策分野	主な取り組み
産 業 くらし 環 境 地域経営	求人情報提供 社会参加を通じた生きがいづくり、歩くまちづくりの推進、地域医療体制 加西の風土を活かした景観づくり 社会活動のリーダーの発掘や育成、ふるさと創造会議 等

(5) 暮らしやすいまちづくり推進プロジェクト

自然や歴史・文化を身近に感じられる環境にありながら、生活の利便性についても確保されたまちであることが魅力の一つとなっています。

学力向上をめざす特色ある質の高い教育の提供、住環境や交通の利便性の向上等の取り組みにより、暮らしやすさをさらに高めていくことで、暮らしにほどよいまちづくりをめざします。

政策分野	主な取り組み
人づくり	特色ある教育（部活や教室、地元高校活性化支援等）、地域に開かれた学校づくり（ゲストティーチャー等）
産 業 くらし 環 境	新たな土地区画整理事業等、住みよい住環境、公共交通網の構築 防犯・防災のまちづくり 水道事業の効率化、省エネ・蓄エネ・創エネの推進 等

(6) シビックプライド醸成プロジェクト

1300年以上の歴史や伝統文化を有しており、豊かな自然と住みやすさを併せ持つ環境は、まちの魅力となっています。

こうしたまちの魅力をブランドイメージとして、市内外に発信していくためには、市民がふるさとに対して誇りと愛着を持ち、子どもや若い世代等へ伝播させていくことが必要です。

政策分野	主な取り組み
(横断課題)	加西の風土・文化・自然を活かした環境教育、子育て情報の発信、加西の魅力の情報発信、便利な田舎のPR、自然と共生する里地・里山づくり 等

3 施策の展開

—基本計画の項目説明—

政策番号 政策名



施策番号 施策名

5年後の到達目標

施策における加西市の将来像（5年後の将来像）

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

行政の取り組みの方向性や事業

● 住民の取り組み

目標の実現のために、住民や企業が取り組むこと

※地域創生戦略及び新しい取り組みは★マークをつけています。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

目標が実現しているかどうかを計る主な指標
及び、K P I の表示

※事業毎の目標指標は「実施計画」で定めます。

※後期計画で、新たに定める指標の当初(H22)の欄は、「—」で表示しています。

※現状は平成 27 年度、到達目標は平成 32 年度の数値となっています。

※現状の欄の下の()書きの数値は、当初計画時の 5 年後(H27)の数値です。

到達に向けた課題

施策における将来に向けての課題

(市民ワークショップ、グループインタビュー、市役所内ワーキンググループからのヒアリング結果、その他市役所各部署からの意見抽出)

関連情報

● 関連する個別計画

施策に関連する市の計画等



施策01

誰もが学べる学習環境づくり

5年後の到達目標

住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・ 公民館を中心に生涯学習機会の充実と情報発信を推進します。
 - ・ 公民館登録グループによる社会貢献活動推進のため、研修会やコーディネート等の支援します。
 - ・ 幅広く高度な情報が提供できるよう館外における図書館サービスを拡充します。また、播磨管内図書館での貸出が可能となり、読書の機会充実に努めます。
 - ・ 芸術文化の薫り高い市民生活を創出します。
- ★地域での子どもの共育活動を推進します。

● 住民の取り組み

- ・ 公民館等で学び、新しい仲間づくりを行います。
- ・ 学習によって得た知識を地域に広げる活動を行います。

基本政策1 子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
生涯学習パスポートの登録者数	0人	482人 (H32目標値は 当初200人)	※受身の受講登録者数から人に 教え貢献する下 記指標に変更
公民館登録グループ社会貢献活動 コーディネート制度（公民館出前 講座）参加グループ数	—	30グループ	60グループ
年間図書館来館者数	26万人	23万人 (27万人)	25万人
★ 公民館主催年間講座数	—	40講座	50講座
★ 土曜チャレンジ学習事業	—	3校区	5校区

到達に向けた課題

- ・ 住民に対する効率的な情報提供体制の構築、幅広い年代の学習機会の充実
- ・ 住民活動リーダーの掘り起こしと人材育成、職員のコーディネート能力の向上
- ・ 来館者数の増加への取り組み、子どもたちの読書活動の推進
- ・ 芸術文化に触れる機会の創出
- ・ 体験学習の機会の提供

関連情報

● 関連する個別計画

- ・ 第2期「加西市教育振興基本計画」
- ・ 加西市生涯学習・社会教育行政推進計画



主体的な青少年活動

5年後の到達目標

青少年の健全かつ自主的な活動を推進するため、それを支える人づくりをめざします。

到達に向けた取り組み

- 行政の取り組み
 - ・ 様々な地域事業に参画し、青少年活動事業の充実を図ります。
 - ・ 地域のお兄さん、お姉さん、あるいはおじさん、おばさんとして、より近い立場で青少年に接していく青少年団体連絡協議会の育成と支援を行います。また青少年活動指導者の確保・育成を行います。
- 住民の取り組み
 - ・ 地域のイベントや行事で青少年が活躍できる場を提供します。
 - ・ 地域における青少年健全育成活動にて他の団体等と連携します。

基本政策1 子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
若者広場年間事業数	3回	6回 (6回)	10回
ユースサポーター数	6人	8人 (8人)	※県の青少年事業の数値から下記の市独自指標に変更
青少年団体連絡協議会登録者数	—	30人	50人

到達に向けた課題

- ・ 会員の拡大とより多くの若者団体との交流
- ・ 活動のサポートを行う人材の育成と支援

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・ 第2期「加西市教育振興基本計画」
 - ・ 教育の重点



施策03

地域で楽しむ体力づくり

5年後の到達目標

施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。

到達に向けた取り組み

- 行政の取り組み
 - ・住民のニーズに合わせた施設の有効活用を行い、住民が身近な場所でスポーツを楽しむ機会を拡充します。
 - ・地域に密着して活動しているグループのリーダーや指導者を養成し、活動を支援します。
 - ・高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動を推進します。
- 住民の取り組み
 - ・地域のウォーキング情報を発信します。
 - ・みんなで誘いあって体力づくりやスポーツ活動に取り組みます。

基本政策1 子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
市が所管するスポーツ施設の年間利用者数	78,000人	89,000人 (78,500人)	90,000人

到達に向けた課題

- ・身近な場所で運動できる機会や情報の提供
- ・スポーツ、レクリエーション等の活動の活性化を促進するための指導者の育成と競技者の増加
- ・高齢者や障がい者等の体力づくりや健康づくり、参加しやすい環境づくり

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・第2期「加西市教育振興基本計画」
 - ・教育の重点
 - ・加西市健康増進計画「第2次健康かさい21」



施策04

出合いを求める若者の応援

5年後の到達目標

出合いを求める人たちが「自分に合う」方法で幸福をつかむことができるまちをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・事業者と連携し、若者の出合いの場のサポート制度を構築するとともに、特色あるイベントの実施に努めます。
- ・関係機関を通じて、企業や事業者等の協力を得ながら職域相互の若者交流等、若者が気軽に出会えるイベントや交流機会の創出を支援します。

● 住民の取り組み

- ・友人知人の紹介によって男女のふれあいの機会を増やします。
- ・若者自身が積極的にイベントに参加するとともに、自ら企画をします。

基本政策1 子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
カップル成立年間組数	—	19組	20組
職域交流年間事業数	0回	1回 (2回)	2回

到達に向けた課題

- ・官民連携協定に基づく民間事業の推進
- ・同世代の若者のイベントや交流機会の創出支援



特色ある教育

5年後の到達目標

次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・義務教育9年間を見通した小中連携強化及び小中一貫教育に対応した学習指導計画を推進し、保幼小、小中連携を強化します。
- ・小中教員の連携、外国人語学指導助手（ALT）の増員により、小中学校の外国語教育を充実します。
- ・情報端末の整備により、子どもたちの情報活用力を向上させます。
- ・加西の風土、文化、自然を活かした環境教育カリキュラムの実施や関係団体との連携を深めていきます。
- ・個々の能力に応じた特別支援教育の充実を図ります。
- ・総合教育センターを活用し、校種間研修講座の増加と各種間の連携強化を図ります。
- ★特色のある部活や教室を設置します。
- ★地元高校の活性化を支援します。

● 住民の取り組み

- ・家庭での学習習慣や規則正しい生活習慣、社会生活に適應できる能力を身につかせます。
- ★地元高校の活性化を支援します。

基本政策1 子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
外国語指導助手の配置人数	6人	6人 (7人)	7人
小中学校での体験型環境教育の年間時間数	8時間/校	10時間/校 (10時間/校)	10時間/校
特別支援教育担当者や特別支援教育コーディネーター等を対象とした研修の年間開催数	—	3回	5回
総合教育センターにおける研究講座数	10講座	15講座 (15講座)	20講座
★ 校内研修の実施回数	—	3回/月	3回/月
★ 部活動の指導者研修会の実施数	—	—	3回
★ アフタースクールゼミ受講者年間延べ人数	—	400人	500人
★ 保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数	—	1回	3回

到達に向けた課題

- ・ 小中一貫教育に向けた保幼小中連携の強化
- ・ 小中学校時の英語教育（ALT）、IT（情報技術）教育、環境教育の充実
- ・ 情報端末の整備による子どもたちの情報活用力の向上
- ・ 風土、文化、自然を活かした環境教育
- ・ 個々の能力に応じた特別支援教育
- ・ 校種間連携強化や一貫教育に向けた研修
- ★ 部活動の活性化や指導の充実
- ★ 地元高校の学習支援

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・ 第2期「加西市教育振興基本計画」
 - ・ 教育の重点
 - ・ 加西市小中連携推進プラン



施策06

安全安心で潤いのある学校

5年後の到達目標

小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・すべての小中学校の旧耐震施設の耐震化を完了させた後は、避難所としての機能回復や教育環境改善を継続します。
- ★学校施設の改修工事を計画的に行い、長寿命化を図ります。
- ★南部学校給食センターの改築を行い、単独調理場の統廃合を行います。

● 住民の取り組み

- ・校庭の清掃、花壇づくり、記念樹の植栽等、奉仕作業に協力します。

基本政策1 子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
学校耐震化率 (鉄筋コンクリート・鉄骨造)	58.0%	100.0% (90.0%)	※耐震化完了
学校耐震化率 (木造)	0.0%	100.0% (100.0%)	※耐震化完了
学校施設における太陽光 発電容量	10kw	197kw (80kw)	197kw

到達に向けた課題

- ・ 学校施設の長寿命化
- ・ 給食センターの改築及び単独調理場の統廃合

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・ 第2期「加西市教育振興基本計画」
 - ・ 学校施設耐震化計画



施策07

地域に開かれた学校づくり

5年後の到達目標

学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・ゲストティーチャー¹等の活用により地域全体で学校の支援に取り組みます。
- ・小中学校内に地域の住民が立ち寄れる広場を設け、地域との交流を図ります。
- ・学校評議員制度やオープンスクール等を通して地域に信頼される学校づくりを推進します。

● 住民の取り組み

- ・子どもの通学時や学校園内での見守り活動やワッシュョイスクールに参加協力します。
- ・学校の情報発信を行い、連携を促進します。

¹ ゲストティーチャー:地域住民が、自らの専門性や経験・特技を活かしてボランティア講師として授業等で指導するもの。加西市では、学校からの依頼により自然・ふるさと体験学習や本の読み聞かせ等、様々な指導を行っている。

基本政策1 子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
ゲストティーチャーの実人数	380人	350人 (400人)	410人
校内交流広場設置数	11校	16校 (16校)	16校
オープンスクール年間開催数	H21 : 4,700人	10回/校 (H26 : 4,800人) ※参加者数目標達成のため各学校の機会提供回数に変更	15回/校

到達に向けた課題

- ・新たなゲストティーチャーの発掘
- ・住民の学校活動への積極的参加
- ・学校教育活動、教育委員会活動に関する情報発信

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・第2期「加西市教育振興基本計画」



裾野の広い農業の育成

5年後の到達目標

様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・各機関と連携して、生産者等を対象とした公開講座を開催します。
 - ・生産、加工、販売の一体的な6次産業化²に向け、講座や研修の充実を図り、起業家への支援を行います。
 - ・新規就農希望者への研修受入制度や市民農園利用について、全国的なPRに努めます。
 - ・法人の設立と参入を推進するとともに、新規就農希望者の雇用の促進に努めます。
 - ・認定農業者や農業法人への農地の利用集積を支援し、補助制度を充実します。
 - ・多様な農家が共存し、安心して住み暮らせる共同体による農村環境を整備します。
- ★ICTを利活用した施設園芸の普及に努めます。
- ★「食と農」に関連する分野等の大学のサテライトキャンパスを加西市へ誘致します。

● 住民の取り組み

- ・田畑の提供等、新たな担い手を育成するためにマッチングの支援や担い手の掘り起しを推進します。
- ・景観形成を図る活動を行います。

² 6次産業化:農産物の生産だけでなく、食品加工、流通、販売にも農業者が主体的かつ総合的に関わることで、農業経営の多角化を図ること。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初 (H22)	現状	5年後
「かさい農業塾」の年間開催回数	0回	1回 (2回)	3回
市民農園年間利用区画数	4園	40区画 ※利用実態を反映 する数値に変更	70区画
農業法人数	1法人	9法人 (4法人)	10法人
農用地利用権設定面積	241ha	570ha (253ha)	600ha
★ 大学等連携による農業分野での 地域活動年間件数	—	1回	2回
★ 高付加価値品種育成数	—	2品種	3品種
★ 新規年間就農者数	—	1人	2人
★ 加西市就農研修生年間受入者数	—	0人	2人
★ 新規就農者支援事業補助金の年 間受給者数	—	1人	2人
★ 施設園芸年間新設数	—	1施設	1施設
★ サテライト機能の具体化	—	—	1大学

到達に向けた課題

- ・ 他の機関との連携推進
- ・ 担い手の育成、営農組織への支援
- ・ 持続可能な農業生産の実現
- ・ 大学のサテライトキャンパスの誘致
- ・ 新規就農者及び新規就農希望者への研修受入制度の活用
- ・ 経営体におけるリーダー育成と意識改革
- ・ 担い手の掘り起しやマッチングの推進
- ・ ICTを活用した施設園芸の普及

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・ 加西市地域水田農業ビジョン
 - ・ 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想



地域資源を活用した産業振興

5年後の到達目標

農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・地元農産物を食材利用する事業者を支援します。
 - ・地元農産物の学校給食への提供等、地産地消事業を推進します。
 - ・地域ビジネス講座を拡充します。
 - ・加西喝采みやげのブランド化を進め、イベントへの出展や各販売所での販売の促進に努めます。
 - ・ポイントカード事業、ネットモール運営事業を支援します。
 - ・中小企業事業資金融資制度の見直しと拡充を行います。
 - ・地元企業も進出しやすい新規産業団地を整備するとともに、市内企業の拡張の支援に努めます。
 - ・宿泊施設の充実とホテルの誘致を推進します。
- ★魅力ある商業施設の誘致を図ります。

● 住民の取り組み

- ・加西ブランド製品の利活用に取り組みます。
- ・販売事業者と連携して、事業を展開します。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
加西製品の販売店舗数	27店	35店 (35店)	45店
卸売業・小売業年間販売額	H19：493億円	700億円 (H24：503億円)	750億円
製造品出荷額等	H20：2,538億円	2,420億円 (H25：2,588億円)	2,662億円 ★（5年間増加率10%）
市内総生産（名目）	H19：1,819億円	1,931億円 (H24：1,931億円)	1,980億円
★ 加西産農産物提供店舗数	—	4店	20店
★ 産業団地等の用地供給面積	—	—	15ha
★ PRブース年間開設数	—	—	6回
★ ホテル設置数	—	—	1箇所

到達に向けた課題

- ・加西農産物の付加価値を高めた活用
- ・食材調達業務の簡略化
- ・創業支援、ビジネス講座の推進
- ・特産品のブランド化
- ・市内商業の活性化
- ・中小零細企業への支援
- ・新規産業団地の周知と理解
- ・来訪者に対応する宿泊施設の誘致



加西に住んで働ける就労支援

5年後の到達目標

老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・新卒者等若者へ多様な媒体を通じて魅力ある市内企業就職情報を提供します。
 - ・働きたい仕事が見つかるよう求人情報を通勤手段別に整理し、情報量や提供範囲を広げて利用機会を高めます。
 - ・若者が働きたくなる産業の創出、誘致を推進します。
 - ・ハローワークとの連携を強化し、再就職をめざす女性に情報提供や再就職講座を実施します。
- ★市内企業への高校生の就職を支援します。
 - ★働く女性の雇用を推進します。
 - ★返還している奨学金への助成により、U J I ターンによる定住を促進します。
 - ★若者の夢の実現や地域活性化、定住促進を図るための支援に努めます。
 - ★若者等の起業支援や後継者育成のための支援に努めます。
 - ★創業希望者に対する支援体制を構築します。

● 住民の取り組み

- ・地元に戻りたいと考えている若者に積極的に情報を提供します。
- ・加西に住みながら仕事に通える子どもの将来について家族で話し合います。
- ・市内企業における住民就労率の向上をめざします。
- ・女性が安心して働ける家庭づくりをめざします。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
若者の加西市残存定住率	73%	73% (75%)	80%
市内企業における住民就労率	30%	35% (35%)	40%
★ 勤労者の定住促進による 市内事業所従業員市内居住率	—	42%	50%
★ 若者就職支援事業による 市内事業所従業員市内居住率	—	42%	50%
★ 就職支援助成年間件数	—	—	10件
★ 市内事業所高校新卒正規社員 年間採用者数	—	71人	100人
★ 市内事業所女性従業員 正社員率	—	43%	50%
★ U J I ターン者数	—	123人	410人
★ 若者チャレンジ事業助成制度 による支援年間件数	—	5件	5件
★ 若者起業支援年間件数	—	3件	5件
★ 年間創業者数	—	3件	7件

到達に向けた課題

- ・ 加西出身学生への地元就職活動推進
- ・ 若者の雇用や仕事の創出
- ・ 就業についての様々なニーズの分析
- ・ ふるさとハローワークの周知と利用促進
- ・ 市内企業の雇用促進支援
- ・ 若者のチャレンジを支援する仕組み
- ・ 新たな企業の誘致
- ・ 女性の社会進出を推進する環境づくり
- ・ 起業・創業のための支援の充実



加西らしい観光サービス

5年後の到達目標

住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・地域文化財保存会や研究会等の団体による歴史文化遺産を継承・活用する活動を支援します。
- ★歴史文化基本構想を策定し、歴史文化を活かしたまちづくりと観光資源化を図ります。
- ・ツーリズムによる地域資源をつなげる観光ツアーや着地型のふるさと再発見ツアーを実施し、市内外に魅力を情報発信します。
- ・特色ある観光サービスを推進し、住民との協働により観光推進基本計画による事業展開を図ります。
- ★田舎体験の実施により、地域振興を図るとともに、地域の魅力を発掘し高めることにより、交流を促進します。
- ★観光拠点のネットワーク化を図ります。
- ★緑豊かな森の中に、市のキャラクターをモチーフとするアート空間の整備を推進します。

● 住民の取り組み

- ・地域住民が文化財の価値を理解し、積極的に保全、活用します。
- ・ふるさと加西の魅力再発見によるおもてなしの心を醸成します。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

	指標名	当初(H22)	現状	5年後
	文化財サポーター登録者数	0人	8人 (30人)	※個人対象のボランティアは廃止し、研究会等の団体主体の活動に変更
	文化財の新規指定・登録件数	5件	10件 (10件)	15件
★	歴史文化遺産の調査	—	0件	20件
	観光まちづくり協会と連携する観光ツアー等の参加者数	1,450人	2,000人 (2,000人)	3,000人
★	フェイスブック「いいね！」件数	—	736件	1,000件
★	かさいまちあそび年間参加人数	—	400人	500人
★	田舎体験プログラム年間参加人数	—	—	50人
★	観光施設WiFiスポット数	—	1か所	5か所
★	根日女の森整備構想とりまとめ	—	—	1か所

到達に向けた課題

- ・ 地域資源を活用したまちづくりへの取り組み
- ・ 点在する観光資源を新たなテーマで結び、情報発信する仕組み
- ・ 地域連携型の観光資源の活用とサービスの提供
- ・ 田舎ツーリズム等による体験プログラムの充実

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・ 加西市観光推進基本計画
 - ・ 歴史文化基本構想



魅力ある中心市街地の形成

5年後の到達目標

大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・市所有未利用地の住宅開発を促進するとともに、効果的な活用方法について検討します。
- ・住宅供給会社等と連携し、土地区画整理事業済み地内の住宅化を促進支援します。
- ・北条地区(旧市街地)の街道筋で、歴史的な街並みを残している区域について、地域住民と行政の協働で、県の景観形成地区³や文化財の指定を受け、規制、誘導方針によって旧市街地の歴史的街並みを継承、保全します。
- ・空き店舗やオフィス補助制度をはじめとした創業支援を実施します。
- ・空き家バンク制度の定着を図り、情報提供に努めます。
- ★新たな土地区画整理事業等を推進します。
- ★市街化区域において土地利用を推進し、住宅地等の整備と確保に努めます。
- ★市街化区域での低未利用地の利用促進による土地の流動化を図り、住宅地の供給量を確保します。
- ★賃貸共同住宅の建設促進による供給戸数の増加を図ります。
- ★空き家・空き店舗を幅広く活用したまちづくりを進めます。
- ★住環境整備による定住促進を図ります。

● 住民の取り組み

- ・景観まちづくりの取り組みを通して、街並み保全のルールづくりと、まちづくりに対する新たな担い手を育成します。
- ・住民や地権者が中心になって地域の景観や住環境の整備を行います。
- ・空き家や空き店舗を活用した事業を展開します。
- ・市街化区域の低未利用地の解消と住宅建築を進めます。
- ・需要に応じた賃貸共同住宅の建設を進めます。

³ 景観形成地区(指定): 兵庫県の「景観の形成等に関する条例」(景観条例)に基づく指定制度の一つ。指定対象となる優れた景観の保全及び維持または創造を目的とし、「歴史的景観形成地区」「住宅街等景観形成地区」「まちなか景観形成地区」「沿道景観形成地区」に種別され、個々の地区に応じた景観形成基準(景観ガイドライン)が定められている。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
市所有未利用地の住宅開発箇所数	0箇所	0箇所 (1箇所)	2箇所
西高室地区区画整理事業により整備された住宅戸数	0戸	0戸 (0戸)	50戸
景観形成に関する条例届出年間受付件数	—	20件	20件
景観形成支援事業修景助成金年間交付件数	—	1件	1件
市街化区域内の商業店舗立地件数	H19 : 244件	250件 (H24 : 250件)	250件
★ 宅地供給促進補助制度を活用した新設店舗数	—	0件	5件
★ 店舗等立地促進補助金受給件数	—	—	5件
★ 空き店舗活用補助金受給件数	—	0件	15件
★ 新たな土地区画整理事業等の推進により確保した住宅戸数	—	0戸	70戸
★ 宅地供給促進補助制度を活用した宅地供給面積	—	10,000 m ²	15,000 m ²
★ 賃貸共同住宅等建設促進補助制度を活用した賃貸供給戸数	—	110戸	300戸
★ 空き家・空き店舗年間助成数	—	—	1件
★ 北条市街地の住環境整備を図った住宅戸数	—	2戸	30戸

到達に向けた課題

- ・市街化区域内の住宅立地促進
- ・美しい街並みを後世に残し活用する取り組みの推進
- ・歩いて暮らせる市街地の住環境
- ・空き家、空き店舗の活用

関連情報

● 関連する個別計画

- ・加西市都市計画マスタープラン
- ・加西市住宅マスタープラン



周辺地域の定住促進

5年後の到達目標

地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・移住体験施設（お試し住宅）の整備に取り組み、定住促進に結び付けます。
 - ・県の特別指定区域制度⁴における「新規居住者の住宅区域」の地区指定を支援します。
 - ・若者向けの持ち家促進のための取り組みを推進します。
 - ・交通の要所として、市民と協働で加西インター周辺の土地利用計画を作成します。
 - ・鶴野飛行場跡地周辺の有効活用を進めます。
 - ・住民が住まい物件の情報を適切に得られるよう、不動産情報の発信や各種制度の周知に努めます。
- ★若者世帯が住みやすい住宅分譲地の整備を進めます。
- ★定住先の決まっていないカップルを対象に市内の不動産情報の提供等を通じて定住促進を図ります。
- ★近隣市町等と連携し情報発信の強化を図り、便利な田舎としての魅力のPRに努めます。

● 住民の取り組み

- ・空き家の利活用のメリットを周知します。
- ・まちづくり協議会や市民を中心とした計画の作成を行います。
- ・田舎暮らしを希望する新規居住者への生活支援や交流を促進します。
- ・地域の空き家情報の収集に協力するとともに、自治会が空き家の利活用を支援します。

⁴ 特別指定区域制度:市町及びまちづくり団体が土地利用計画を策定し、集落区域及び特定区域内にある区域、公共施設が整備された区域において、地縁者の住宅や既存工場の用途変更等、条例で定めた一定の用途の開発が可能となる兵庫県制度。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
空き家バンクによる定住件数	3件	0戸 (10戸)	5戸
新規居住者地区住宅戸数	0戸	3戸 (5戸)	10戸
加西市若者世帯持家促進補助制度の受給者数	7件	35件 (20件)	50件
★ お試し滞在施設数	—	—	3棟
★ 移住マッチング支援相談年間件数	—	5件	50件
★ 空き家改修年間助成数	—	—	5件
★ 新婚世帯向け家賃補助金の年間新規受給者数	—	52件	70件
★ 加西インター周辺の土地利用計画の作成	—	—	作成
★ 鶉野飛行場跡地周辺整備による観光誘客年間数	—	8,000人	16,000人
★ 住宅分譲地の整備により確保した住宅戸数	—	28戸	200戸
★ かさいふたリズム推進事業年間利用件数	—	6件	10件
★ 出張相談会年間参加数	—	1回	3回

到達に向けた課題

- ・ストック住宅⁵や空き家の活用
- ・子育てファミリー層の呼び込み
- ・定住促進を目的とする住まい情報の発信
- ・地縁者、新規居住者の受け入れ支援
- ・未利用地の整備、有効活用

関連情報

● 関連する個別計画

- ・加西市都市計画マスタープラン
- ・加西市住宅マスタープラン
- ・歴史と平和を継承するまち鶉野地区都市再生整備計画

⁵ ストック住宅: 空き家を含めた既存住宅・中古住宅。



公共交通網の構築

5年後の到達目標

公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・都市核と地域核を結ぶ市内幹線路線の効率化を図ります。
 - ・市内幹線交通網へ接続する地域主体型公共交通の導入を進めます。
 - ・民間事業者が運行する広域幹線路線バスを維持します。
 - ・公共交通のわかりやすい情報提供に努めるとともに、利用促進を図ります。
 - ・北条鉄道の経営支援と利用促進策を実施します。
 - ・交通結節点（駅・バス停）の整備を進めます。
 - ・自動車を気軽に利用できない人の移動にかかる運賃軽減を実施します。
- ★子育て世帯等の移動手段を確保するため、妊婦及び未就学の子どもの保護者について、コミュニティバスの運賃を無料化します。
- ★北条鉄道各駅へのアクセスの改善を図るため、コミュニティバスの再編等を実施し、公共交通ネットワークを構築します。

● 住民の取り組み

- ・地域の維持発展に必要な交通を行政とともに考え、既存公共交通の積極的な利用と地域主体型交通について検討を行います。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H21)	現状	5年後
コミバス等の年間利用者数	14.7千人	19千人 (17.6千人)	30千人
北条鉄道の年間利用者数	306千人	360千人 (306千人)	380千人

到達に向けた課題

- ・ 市民・事業者・行政の連携
- ・ 社会情勢や地域情勢の変化に対応した地域公共交通の再編
- ・ 公共交通の持続的発展に向けて他分野との連携
- ・ 車を利用できない市民の移動手段の確保
- ・ 各種情報媒体を用いた情報提供体制の整備

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・ 加西市都市計画マスタープラン
 - ・ 加西市公共交通総合連携計画



住みよい住環境

5年後の到達目標

誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・都市公園等の計画的な管理と保全により、活用を促進します。
- ・史跡を計画的に整備し、活用を図ります。
- ・国道372号や主要幹線道をはじめとする道路網を整備します。
- ・自転車歩行者道やガードレール等の安全施設の整備を行います。
- ・長寿命化計画を作成して計画的な維持補修を行います。
- ・河川の維持管理の強化と未改修河川を整備します。
- ・公共施設等に関するわかりやすい案内表示板等、ユニバーサルデザイン⁶の導入を推進します。

● 住民の取り組み

- ・誰もが気持ちよく公園利用ができるよう公園内のマナーを守ります。
- ・身近な道路の損傷や障害物等について、市等の道路管理者に報告します。

⁶ ユニバーサルデザイン:文化・言語・国籍の違い、年齢・性別といった差異、障がい・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計(デザイン)。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
歩道設置総延長	32,808m	34,500m (34,500m)	36,100m
基幹道路網の整備 延長距離	—	—	4 km
集落道路の改良延 長距離	—	—	4.5 km

到達に向けた課題

- ・公園の長寿命化やリノベーションの実施
- ・安心して通行できる道路、河川、橋梁の整備
- ・誰もがわかりやすく利用しやすい公共施設等の案内表示

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・加西市都市計画マスタープラン
 - ・史跡玉丘古墳群整備基本計画



社会参加を通じた生きがいづくり

5年後の到達目標

すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・定年退職世代の技能を役立てる情報提供や就労講座を実施します。
 - ・シルバー人材センターとの事業連携を進め、高齢者の就業機会の開拓、拡充を支援します。
 - ・高齢者自身が企画運営を進める事業を支援します。
 - ・障がい者団体の活動活性化と支援を拡充します。
 - ・社会参画機会の拡大と環境づくりを進めます。
- ★シニア世代の定住化の推進の一環として、地域資源を活かした加西市に相応しいCCRC構想の具体化を図ります。

● 住民の取り組み

- ・高齢者自身が自立の気持ちと生きがいを持ってボランティア活動等に参加し、持っている能力の活用を図ります。
- ・サロンや行事等の地域活動を行います。
- ・企業や事業者は障がい者の雇用を推進します。

基本政策3 誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
高齢者講座年間受講者数	426人	460人 (500人)	500人
シルバー人材センター会員数	517人	440人 (550人)	500人
高齢者ボランティア数	350人	450人 (450人)	650人
障がい者サロン年間参加者数	430人	450人 (450人)	500人
★ C C R C整備構想とりまとめ	—	—	1施設

到達に向けた課題

- ・ 定年後の社会参加促進、交流機会の創出
 - ・ シルバー人材センターとの連携強化
 - ・ 高齢者による主体的な社会参加事業の推進
 - ・ 障がい者の社会参加促進、事業の周知啓発
- ★加西型C C R C構想の導入可能性の調査、検討

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・ 加西市地域福祉計画
 - ・ 加西市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
 - ・ 加西市障害者基本計画・障害福祉計画



こころとからだの健康づくり

5年後の到達目標

住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・ 特定健診やがん検診、歯周疾患検診等の受診率向上のための制度を充実します。
 - ・ 予防接種の助成制度を拡充します。
 - ・ 健診後の結果を生活に活かせるように食生活、運動の相談支援体制を充実します。
 - ・ 地域の健康づくりを目的とした自主的な地区組織活動を支援します。
 - ・ 健康づくりのための拠点施設を充実します。
 - ・ こころの健康についての理解を深め、こころの問題を早期に対応できるよう、支援体制を整えます。
 - ・ 健診や教室を通じて各世代に望ましい食習慣確立のための支援を行います。
- ★特定不妊治療に対する支援を行います。
- ★歩くまちづくりの推進のため、市民の誰もが歩いて暮らす健康づくりの環境整備を進めます。

● 住民の取り組み

- ・ 健康づくりにおける運動の重要性を認識し、自分に合った運動を継続して取り組みます。
 - ・ 各種健診の必要性を知り、積極的に受診し、健康づくりに努めます。
 - ・ 一人ひとりが自分自身や家族友人のこころの健康に関心を持ちます。
 - ・ 正しい食習慣を身につけます。
- ★地域での交流等を通じて住民一人ひとりの活動量を増進し、健康づくりや介護予防に寄与します。

基本政策3 誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H21)	現状	5年後
がん検診受診率	胃 12.6% 大腸 22.4% 肺 28.2% 子宮 13.3% 乳 11.6%	胃 9.3% 大腸 23.4% 肺 29.6% 子宮 13.9% 乳 16.6% (すべて 30%)	胃 19% 大腸 26% 肺 30% 子宮 21% 乳 23%
運動を心がけている人の割合	34%	31.4% (40%)	35%
朝食を欠食する人の割合	20歳代 32.8% 30歳代 18.1% 40歳代 16.9%	20歳代— (20%) 30歳代— (10%) 40歳代— (8%)	20歳代 20% 30歳代 10% 40歳代 8%
★ がん検診の無料クーポン利用率	—	男 14.8% 女 36.0%	男 20% 女 40%
★ 接種助成制度の創設数	—	—	1 疾病
★ 野菜を毎食食べる人	—	13.3%	18%
★ 特定不妊治療助成年間件数	—	45 件	60 件
★ 健幸ポイント事業参加者数	—	250 人	1,000 人

到達に向けた課題

- ・ 検診受診のきっかけづくりを行い、健康診査の受診率向上による疾病の早期発見と予防
 - ・ 乳幼児の任意の予防接種の助成・生涯現役で暮らせるような健康づくり行動の推進
 - ・ こころの健康⁷を保ち、元気で暮らせるような支援体制の構築
 - ・ 運動に取り組むきっかけづくりを行い、幅広い世代の利用を促進
 - ・ 食に対する意識の向上、望ましい食生活による生活習慣の確立
- ★特定不妊治療の助成 ★歩きたくなるまちづくり

関連情報

● 関連する個別計画

- ・ 加西市食育推進計画
- ・ 加西市健康増進計画「第2次健康かさい21」

⁷ こころの健康:自分の感情に気づいて表現できること(情緒的健康)、状況に応じて適切に考え、現実的な問題解決ができること(知的健康)、他人や社会と建設的でよい関係を築けること(社会的健康)。



地域医療体制の充実

5年後の到達目標

地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・医療者の確保と安全な医療体制を構築し、新病院改革プランの策定と着実な病院の運営を実施します。
 - ・高度医療の充実と、近隣病院、診療所との連携を強化します。
 - ・県、医師会、病院との連携を強化します。
 - ・保健、医療、福祉、介護等との連携を密にし、これらのサービスが適切に受けられる体制を確保します。
 - ・医師会、歯科医師会による休日や年末年始の医療体制を確保します。
- ★開設費用に対する補助を行うことにより、市内に新たに産婦人科医院等を誘致し、安心して出産できる環境を整備します。

● 住民の取り組み

- ・地域で医療を受けることのできる環境を守ります。
- ・地域のかかりつけ医を持ちます。
- ・市民フォーラム、ホスピタルフェアの参加等、医療に対する理解と支援意識の醸成に努めます。

基本政策3 誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
病院・診療所数	27件	32件 (27件)	35件
加西病院への年間紹介患者数	6,100人	6,900人 (7,550人)	7,900人
★産婦人科医院等の開設	—	—	1か所

到達に向けた課題

- ・ 地域医療の中核である加西病院の経営基盤強化
 - ・ 加西病院と診療所との地域医療連携、利用率の向上
 - ・ 産婦人科、小児医療の充実による子育てしやすい環境の整備
 - ・ 住民が地域医療を支える意識の醸成
- ★安心して出産できる環境の整備

関連情報

- 関連する個別計画
- ・ 市立加西病院改革プラン



地域で支え合う安心の暮らし

5年後の到達目標

地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・高齢者や障がい者、及びその介護者を支援するため、総合的な支援体制を強化します。
 - ・ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯へ地域に密着した配食サービスを拡充します。
 - ・要援護高齢者の通院等外出支援のために移送サービスを充実します。
 - ・地域の介護予防リーダーの養成とその活動を支援します。
- ★大学等との連携による高齢者の介護支援（介護予防）を進めます。
- ★あったか声かけ作戦を推進します。

● 住民の取り組み

- ・地域で生活する高齢者、障がい者に対して理解を深め、関係機関との連携体制構築に協力します。
 - ・サービスを提供するボランティアに参加します。
 - ・高齢者の介護予防や健康づくりの活動を行います。
- ★認知症に関する知識を深め、地域で認知症高齢者を支え合うよう努めます。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
配食サービス配食数	—	400件	400件
高齢者外出支援サービス事業 年間利用延べ件数	—	300件	300件
介護予防リーダー養成数	73人	300人 (300人)	500人
★ 連携カフェ年間開催数	—	—	16回

到達に向けた課題

- ・ 障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせるためのグループホーム設置の支援
- ・ 地域包括支援センター、障害者（児）相談支援センターの周知と利用促進
- ・ 高齢者や障がい者等に対する支援体制の充実
- ・ ボランティア等のサービス提供の担い手の確保
- ・ 地域の見守り体制を強化するためのネットワークづくり
- ・ 高齢者の生活支援ができる人材育成のための介護予防リーダー養成講座の検討

関連情報

● 関連する個別計画

- ・ 加西市地域福祉計画
- ・ 加西市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
- ・ 加西市障害者基本計画・障害福祉計画
- ・ 加西市子ども・子育て支援事業計画



防犯・防災のまちづくり

5年後の到達目標

災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・災害時要援護者の登録推進を図ります。
- ・北はりま消防組合との連携や自主防災組織、消防団を支援により強化し、地域防災力の向上に努めます。
- ・通学路防犯灯を増設し、児童の安全対策を図ります。
- ・青色防犯パトロールによる巡回活動を充実します。
- ・警察や交通安全協会等との連携を強化し、免許返納制度⁸を推進します。
- ★老朽危険空き家問題に取り組み、安全安心のまちづくりを推進します。
- ★防犯カメラの設置により、犯罪の未然防止に努めます。

● 住民の取り組み

- ・地域でのあいさつや声掛けを積極的に行い、地域のコミュニティづくりに努めます。
- ・日頃から様々な災害を意識し、避難場所等、災害情報の入手に努めます。
- ★コミュニティの見守り活動を通して、地域の空き家状況の把握に努めます。

⁸ 免許返納制度:加齢に伴う身体能力や認知能力の低下により、運転に不安を感じている高齢運転者のうち、運転を継続する意思がなく、運転免許証を返納したい人のために、自主的に運転免許取消しの申請ができる制度。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
高齢者における人身事故加害者率	0.49%	0.44% (0.44%)	0.43%
避難場所(学校体育館等18箇所)の耐震化率	61.1%	100.0% (100%)	※耐震化完了
防犯灯のLED化率	0%	100% (50%)	※LED化完了
防犯灯設置数	—	3,700灯	4,200灯
★ 防災訓練・研修年間開催数	—	35回	71回
★ 資器材補助団体数	—	10団体	20団体

到達に向けた課題

- ・ 高齢者、障がい者等の災害時要援護者対策、災害時要援護者台帳への登録推進
- ・ 災害危険箇所と避難場所の周知徹底
- ・ 広域消防と地域消防団との連携
- ・ 自主防災組織、消防団組織の活性化と充実、地域防災力の強化
- ・ 通学路等の安全対策
- ・ 高齢者等の交通事故件数の抑制

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・ 加西市防災計画
 - ・ 加西市水防計画
 - ・ 加西市国民保護計画
 - ・ 加西市災害時要援護者避難支援計画



施策21

安心できる子育て支援

5年後の到達目標

家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ★加西市の子ども・子育ての総合的な拠点施設として、未来型児童館を設置します。
- ・健やかな発達の支援のため、乳幼児健診や相談を充実します。
- ・教育と福祉、保健部門とのネットワークを活かした子育て支援や療育相談の機能を高めます。
- ・地域ぐるみの子育て支援により児童虐待防止を推進します。
- ・学校との連携を強化し、学童保育を充実します。
- ・認定こども園の整備による幼保一体化を促進し、民間活用も含めた保育・教育の拡充を進めます。
- ・保育料の無料化等、保護者の負担軽減を図ります。
- ・子育てひろば事業や病児・病後児保育等の利用を促進します。
- ・地域の保育サポーターやプレイリーダーを養成します。
- ・中学3年生までの医療費自己負担無料化について、継続して実施します。
- ★妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない相談や産後ケア等の支援体制を整備します。
- ★ひとり親家庭の支援を行います。
- ★子育て応援企業の支援を行います。
- ★「赤ちゃんの駅」の指定を行い、子育て支援を行います。
- ★遊びながら学べる屋内遊具施設を誘致し、雨の日でも遊べる環境を整備します。
- ★空き家を活用した子育て支援を行います。
- ★子育て情報の発信に努めます。
- ★多子世帯及びひとり親家庭の下水道基本料金を減免し、子育ての経済的負担の軽減を図ります。
- ★乳幼児のいる世帯等に市指定ごみ袋を配布し、経済的負担の軽減を図ります。

基本政策3 誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西

● 住民の取り組み

- ・安心して子育てができるよう、乳幼児健診や相談の機会を活用します。
- ・子育てひろばに親子で参加し、情報交換を行います。
- ・地域の子どもをあたたかく見守り、子育て家庭を応援します。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
子育てひろば事業・児童館の充実	—	5か所	5か所
学童保育受入率	82.9%	100%(100%)	100%
認定こども園の普及	—	5園	7園
休日保育実施園数	0園	0園(1園)	※各園対応可能なため指標から除外
病児病後児保育施設年間利用者数	0園	300人(1園)	500人
ファミリーサポートセンター協力会員数	29人	60人(40人)	65人
中学3年生までの医療受診件数	—	82,496件	85,000件
★ 妊婦健診の年間受診延べ件数	—	3,664件	3,750件
★ 保育料等の無料化対象年齢	—	—	4・5歳
★ 産後ケア助成制度の利用率	—	—	10%
★ ひとり親家庭の支援制度のメニューの充実	—	—	1メニュー
★ 子育て応援券制度対象者数	—	—	1,500人
★ 子育て応援企業セミナー年間参加者数	—	—	30人
★ 「赤ちゃんの駅」設置数	—	—	15か所(公共12、民間3)
★ 空き家を活用した子育て支援施設数	—	—	1か所
★ 屋内遊具施設の誘致	—	—	1か所
★ 「子育てNAVI」1日平均閲覧数	—	60件	300件
★ 下水道基本料金の減免年間世帯数	—	560世帯	700世帯
★ ごみ袋年間支給枚数	—	12万枚	15万枚

基本政策3 誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西

到達に向けた課題

- ・子育てに悩みを抱える家庭に対する切れ目のない相談体制の充実
- ・ファミリーサポート登録者数の確保、相談員の資質向上
- ・学童保育支援員の確保
- ・多様な保育ニーズへの対応、保育士の確保
- ・市の財政負担の軽減
- ・地域の子ども同士がふれあう機会の拡充
- ・乳児医療制度の充実
- ★産前産後支援の充実
- ★子育て支援制度の周知
- ★子どもの発達に応じた教育の実施

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・第2期「加西市教育振興基本計画」
 - ・加西市子ども・子育て支援事業計画
 - ・加西市健康増進計画「第2次健康かさい21」



自然と共生する里地里山づくり

5年後の到達目標

地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・住民参加による地域の里山整備を支援します。
- ・企業や都市住民を募り、里山ふれあいの森、企業の森として都市部との相互交流を進めます。
- ・市内の自然環境に生息する多様な生物を調査、把握し、保全、回復と利活用を推進します。
- ・老朽化による決壊等、危険度の高いため池を順次改修します。
- ・有害鳥獣対策による農作物の被害を防ぐために関係機関との連携を図ります。
- ・耕作放棄地の解消と農地の有効利用を進めます。

● 住民の取り組み

- ・集落単位の里山や田畑、ため池の整備に取り組みます。
- ・環境保全に取り組みます。
- ・耕作放棄地を抑制するため、農地の有効活用を図ります。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
里山整備箇所数(毎年)	0箇所	10箇所 (10箇所)	10箇所
企業の森面積	0ha	4ha (4ha)	8ha
有害鳥獣年間被害額	27,284千円	25,000千円 (26,000千円)	20,000千円
耕作放棄地面積	16ha	10ha (14ha)	8ha

到達に向けた課題

- ・里地里山⁹整備の推進とその維持活用、補助要件の緩和の検討
- ・自然とふれあう環境づくりの推進
- ・自然と共生するため池、河川、人工林、水田等の環境改善
- ・防災のための里山、田畑、ため池等の保水力の維持
- ・有害鳥獣による農作物被害への対策、ハンターの育成
- ・耕作放棄地の増加への対応

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・加西市環境基本計画
 - ・加西市生物多様性地域戦略

⁹ 里地里山:都市域と原生的自然との中間に位置し、様々な人間の働きかけを通じて環境が形成されてきた地域で、集落をとりまく人為的に維持された森林と、それらと混在する農地、ため池等で構成される。



加西の風土を活かした景観づくり

5年後の到達目標

地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・市内の観光資源をガイドブック化して、周知を強化します。
- ・ふるさと加西の魅力再発見事業を展開します。
- ・広告物の表示については、景観との調和に努めます。
- ・開発調整条例に基づく景観に配慮した適正な土地利用を推進します。
- ・花咲くまちづくりを推進します。

● 住民の取り組み

- ・講座やハイキングへの積極的な参加を増やし、歴史的な遺産を後世に受け継いでいきます。
- ・良好な街並みや景観の形成に努めます。
- ・ふるさとの森づくりや緑の維持管理に努めます。
- ・住民ボランティアによる花づくり、地域の花壇づくりに積極的に取り組みます。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
住民ボランティアによる植栽ポット数	11万ポット	11万ポット (11万ポット)	11万ポット
緑のカーテンコンテスト参加者数	21人	H25: 29人 (30人)	※事業終了

到達に向けた課題

- ・ 後世に継承すべき地域資源の再発見とデータ化、ガイドブック化
- ・ ボランティアガイド養成を兼ねたふるさと再発見講座の開催
- ・ ふるさと加西に愛着と誇りを持てる事業の展開
- ・ 景観に配慮した開発行為の誘導、パトロール
- ・ 花と緑の協会への支援、活動の周知

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・ 加西市観光推進基本計画



5年後の到達目標

温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。

到達に向けた取り組み

- 行政の取り組み
 - ・ 公共施設の新築、改築の計画、設計等に省エネルギー基準やガイドラインを設け、適用します。
 - ・ 民間による環境技術、新製品研究開発及び環境産業を行うための施設整備への助成、融資を行います。
 - ・ 住宅用太陽光発電システム、電気自動車、蓄電池等の導入を促進支援します。
- 住民の取り組み
 - ・ 家庭や企業におけるエネルギー消費の削減に努めます。
 - ・ 企業は、環境負荷を軽減する技術の開発や、商品の製造及びサービス提供に努めます。
 - ・ 再生可能エネルギーの活用を推進します。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
住宅における太陽光発電量	1,208kw	4,500kw (1,600kw)	※住宅に限定せず下記の指標に変更
加西市内の太陽光発電導入容量	—	37,285kw	75,000kw

到達に向けた課題

- ・スマートグリッド¹⁰の実現
- ・自転車、電気自動車等の利用の促進
- ・加西市グリーンハウス建築促進補助制度の利用促進
- ・環境に配慮した資材の利用促進
- ・再生可能エネルギーの活用（エネルギーの地産地消）

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・加西市グリーンエネルギーシティ構想

¹⁰ スマートグリッド:省エネとコスト削減、信頼性と透明性を向上させるため、人工知能や通信機能等により電力供給を自動的に調整する機能を持たせ、最適化できる電力網。



水環境のまちづくり

5年後の到達目標

安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・上下水道の施設や設備について費用の平準化を図り、計画的に整備を行います。
- ・下水道の接続促進や合併浄化槽の普及を促進し、水洗化率を高めます。
- ・効率的な生活排水処理計画を策定し、計画的な施設の統廃合や改修を行います。
- ・企業努力による上下水道事業の効率化、安定化、適正化を進め、持続可能な経営を行います。
- ・公道の透水性舗装を推進します。

● 住民の取り組み

- ・未接続世帯において、早期の下水道接続を心がけます。
- ・河川の水質浄化のため、適切な排水処理に努めます。
- ・雨水の利活用に努めます。
- ・上下水道に対する理解を深め、上下水道事業を支援します。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
水道管路耐震化率	78.0%	82.0% (82.0%)	85.0%
水洗化率	76.1%	87.5% (90.0%)	92.0%

到達に向けた課題

- ・ 事故や災害に備えた上下水道施設の計画的な耐震化や更新
- ・ 水洗化促進補助金の交付、戸別訪問による水洗化の促進
- ・ 水洗化率の向上
- ・ 上下水道経営の健全化
- ・ 雨水の処理対策と利活用

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・ 生活排水処理計画



ゴミ減量と資源リサイクルの推進

5年後の到達目標

資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・レジ袋の有料化や無料配布の中止、グリーンコンシューマー¹¹を推奨する事業者の割合を増やします。
- ・ごみの分別（現 23 分類）、リサイクルを推進し、ゴミ処理の効率化、適正化を進めます。
- ・剪定枝や廃食用油等のバイオマス資源を回収し、薬用ハンドソープやリサイクル堆肥等の原料として有効活用を推進します。
- ・美バースへの補助金を継続します。

● 住民の取り組み

- ・マイバッグの利用等、レジ袋の減量に努めます。
- ・ゴミの廃棄についてはルールを守り正しく分別します。
- ・各種団体等による資源ゴミの集団回収に協力します。

¹¹ グリーンコンシューマー: 買い物をするときに、できるだけ環境に配慮した製品を選んで購入する消費者のことを言う。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
レジ袋削減協力事業者数 (量販店にかかると)	9社	9社 (9社)	10社
住民1人1日あたりのゴミ 排出量	794g	783g (783g)	766g
ゴミのリサイクル率	20%	21% (21%)	22%
廃食用油の回収量	—	13千ℓ	14.5千ℓ

到達に向けた課題

- ・レジ袋無料配布の中止協定の理解と協力を得るための広報啓発
- ・ごみ排出者への分別意識の向上、リサイクルの推進
- ・ゴミの発生を少なくする仕組みの構築
- ・ゴミ処理の効率化と適正化
- ・資源ゴミを循環させる仕組みの構築

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・加西市環境基本計画
 - ・加西市地域新エネルギービジョン
 - ・加西市地球温暖化対策実行計画
 - ・加西市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画



環境学習の推進

5年後の到達目標

誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。

到達に向けた取り組み

- 行政の取り組み
 - ・親子で参加できる環境学習を推進します。
 - ・環境学習リーダーを養成し、その活動を推進します。
 - ・様々な組織や団体により取り組まれた環境学習のノウハウを他の学校や団体が活用できるよう支援します。
 - ・環境に配慮したまちづくりに資するテーマで、住民や小学生を対象に、定期的な学習会を開催します。
 - ・教員を対象とした環境学習に関する研修を実施します。
- 住民の取り組み
 - ・環境問題に積極的に取り組みます。
 - ・様々な学習機会を通して地域の環境保全に努めます。
 - ・企業においてISO14001¹²やエコアクション21¹³を積極的に取得します。

¹² ISO14001:国際標準化機構の環境マネジメントに関する国際規格で、企業活動、製品及びサービスの環境負荷の低減等、継続的な改善を図る仕組みを構築するための要求事項を規定したもの。

¹³ エコアクション21:すべての事業者が、環境への取り組みを効果的、効率的に行うことを目的に、環境に取り組む仕組みをつくり、取り組みを行い、継続的に改善し、結果を社会に公表するための方法について、環境省が策定したガイドライン。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
公民館におけるこども環境学習の受講者数	51人	100人 (150人)	250人
公民館における環境学習リーダー養成講座の受講者数	123人	200人 (200人)	250人
環境学習実施学校数	—	15校	15校
I SO14001、エコアクション21取得企業団体数	32件	53件 (50件)	53件
教員を対象とした環境学習に関する研修	—	2回	5回

到達に向けた課題

- ・身近な地域での環境学習の開催の実施
- ・環境問題や環境学習に対する関心と理解
- ・中学校における環境教育の実施
- ・環境マネジメントシステム（EMS）の普及啓発、認証事業所数の維持
- ・総合教育センターでの環境教育に関する教員を対象とした研修講座の開催

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・加西市環境基本計画
 - ・加西市地球温暖化対策実行計画
 - ・加西市地域新エネルギービジョン
 - ・エコアクション21
 - ・第2期「加西市教育振興基本計画」
 - ・教育の重点



情報公開と住民自治のまちづくり

5年後の到達目標

地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・ 自立的な地域づくりのために、地域おこし協力隊等の採用を進めます。
- ・ 社会活動の促進を図るため、各種法人や個人起業家の育成を進めます。
- ・ ボランティア活動希望者と支援を受けたい人との調整を図ります。
- ・ ふるさと創造会議の立ち上げとともに小規模多機能自治への発展を進めます。
- ・ 住民から寄せられる提案、要望、意見に対する回答について、ウェブ情報等を活用して住民との情報共有を図ります。

★集落支援員の配置を進めます。

● 住民の取り組み

- ・ 創造会議やNPO法人等の勉強会を実施していきます。
- ・ イベントに出店する等、得意分野を活かすイベントを企画します。
- ・ 住んでいるまちのよいところを探し、家族で話し合うようにします。
- ・ 市政運営や市の財政状況について関心を持ち、HPを見て加西市を知ります。
- ・ 懇談会や意見募集等、様々な方法により意見を述べます。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
地域づくりコーディネーター数	—	2人	4人
NPO ¹⁴ 法人数	11法人	21法人 (15法人)	35法人
ボランティア活動希望登録者数	0人	0人 (50人)	200人
ふるさと創造会議設置数	0箇所	7箇所 (11箇所)	11箇所
★ 集落支援員数	—	0人	11人
★ 地域おこし協力隊員数	—	2人	6人
★ 加西サポーター登録者数	—	—	300人

到達に向けた課題

- ・ 地域づくりの担い手やリーダーの発掘と育成
- ・ NPO支援所管部への財源と業務移管
- ・ 住民参加による政策形成
- ・ ふるさと創造会議の役員を対象としたシンポジウムや講演会の開催の実施
- ・ 行政運営の透明性の確保
- ・ 情報発信の拡大とわかりやすい市政情報の提供
- ・ 集落支援員の人材育成

¹⁴ NPO: (Non Profit Organization) 非営利活動団体。様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称。



自己実現と共生のまちづくり

5年後の到達目標

家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・男女共同参画社会に関する学習機会を拡充します。
- ・女性の声を地域の組織や団体に反映させる制度を構築します。
- ・在住外国人のための学習支援や生活情報の多言語化を推進するとともに、教育分野との連携を進めます。
- ・国際交流協会のNPO化により活動範囲を広め、市民レベルの交流を進めます。
- ・家庭や学校、地域、職場等、あらゆる場と機会を通じて、人権尊重の理念を踏まえ、様々な人権課題に対する教育、啓発を進め、お互いを認め合い、差別を許さないまちづくりを推進します。

● 住民の取り組み

- ・自治会内で女性のグループをつくり、役員になる人材を育成します。
- ・育児をする時期の働き方を考えます。
- ・多文化を知る取り組みを進めます。
- ・自分の大切さとともに、他の人の大切さも認めることができる人権感覚を育てます。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
男女の労働力率の格差是正 女性の労働力率	—	50%	60%
市の女性管理職登用率	7.0%	10.0% (10.0%)	15.0%
市内における日本語講座の 実施教室数	800人	2教室 (1,000人)	5教室
市内における各種外国文化 関係団体の会員数	—	30人	50人
人権学習会参加者数	2,700人	2,400人 (2,800人)	3,000人

到達に向けた課題

- ・ 起業支援のプラットフォームとなるターミナルスポットの整備の促進
- ・ 女性団体の団体間の交流支援
- ・ 女性の社会進出とワーク・ライフ・バランス¹⁵の推進
- ・ 在住外国人のための多言語による生活支援
- ・ 市民レベルの国際交流
- ・ ねひめカレッジと連携したボランティアグループの事業の実施
- ・ お互いを思いやる人権意識の向上

関連情報

● 関連する個別計画

- ・ 第二次かさいゆめプラン
- ・ 男女共同参画都市宣言
- ・ 加西市人権教育及び啓発に関する推進指針
- ・ 加西市配偶者等からの暴力（DV）対策基本計画

¹⁵ ワーク・ライフ・バランス:仕事と生活の調和。住民一人一人が、やりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活等においても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択、実現できること。



施策30

行政サービスの向上と効率経営

5年後の到達目標

次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。

到達に向けた取り組み

● 行政の取り組み

- ・定員適正化計画に基づき、必要な部門に職員を重点配置します。
 - ・職員の能力や士気を向上させる職員研修を拡充します。
 - ・民間活力の導入と広域化を推進し、行政サービスの質的向上に努めます。
 - ・公共施設等総合管理計画を作成し、公共施設のあり方について検討を進めます。
 - ・行財政改革プランの見直しを行い、持続可能な財政運営に向けて取り組みを進めます。
 - ・自主財源確保のため、市税及び公共料金の収納体制を強化し、収納の向上を図ります。
 - ・国・県の動向を踏まえ、入札制度について随時見直しを実施し、適正かつ効率的な事務の執行を図ります。
- ★定住自立圏において圏域内の暮らしを整備するとともに、連携中枢都市に基づいて広域的な視点から地域の活力向上に努める等、事務処理の共同化を進めることにより関係団体と連携・協力して効率化を図ります。

● 住民の取り組み

- ・行政サービスの効果とコストの監視に努めます。
- ・税金の使い道について理解と関心を深めます。

■ 取り組みの進捗状況を確認するための数値

指標名	当初(H22)	現状	5年後
市役所の正規職員総数 (消防、医療職員除く)	350 人	332 人 (326 人)	326 人
職員研修成果発表回数	2 回	2 回 (2 回)	3 回
基金残高 (財政調整+減債)	18 億円	26 億円 (21 億円)	24 億円
全会計市債残高	457 億円	435 億円 (392 億円)	423 億円
実質公債費比率	20.3%	10.5% (16%)	8.0%
★ 将来負担比率	—	70.0%	65.0%
★ 定住自立圏構想の連携事業年間件数	—	28 事業	30 事業

到達に向けた課題

- ・ 民間活用を踏まえた適正な人員配置の実施
- ・ 職員の人材育成と意識改革
- ・ 行政サービスの民間活用
- ・ 施設の計画的な整備・更新
- ・ 総合計画に基づく事業評価と予算との連動
- ・ 歳入確保と収納率の向上
- ・ 競争性を高めた入札制度の見直し

関連情報

● 関連する個別計画

- ・ 行財政改革プラン
- ・ 加西市公共施設等総合管理計画
- ・ 人材育成基本方針

第4部 計画の総合的推進



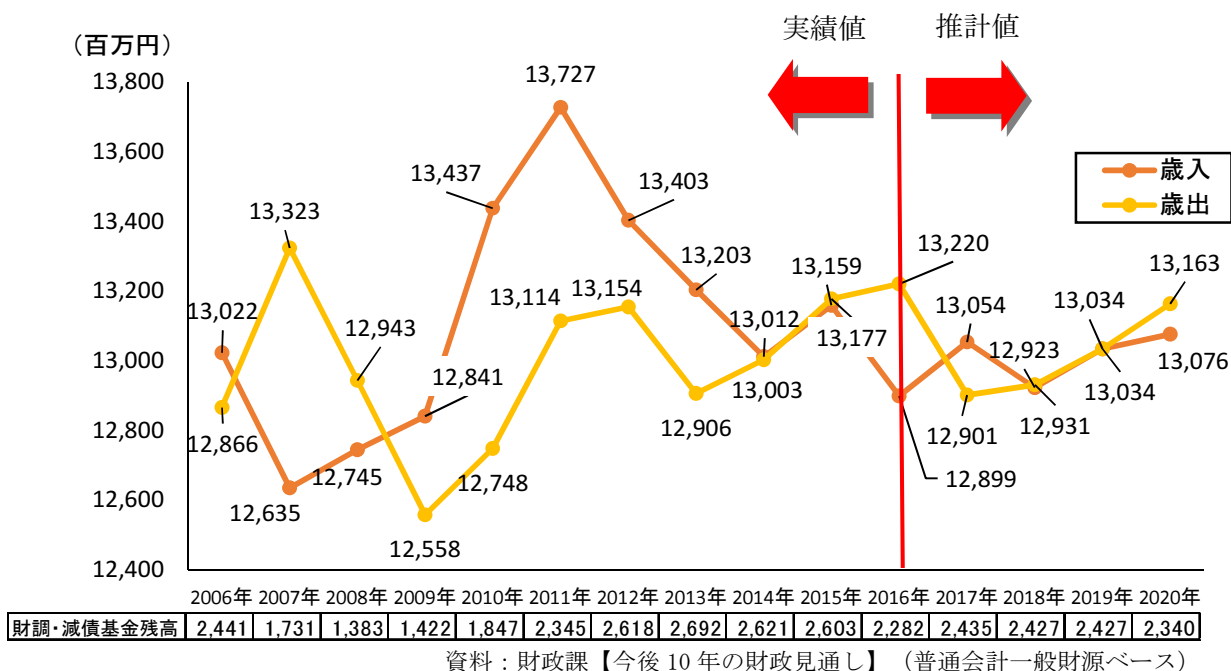
満開の桜の下を走る北条鉄道の気動車／法華口駅

1 財政の見通し

(1) 加西市行財政改革プランにおける財政の推移

普通会計の一般財源ベースで平成 32 年度までの 10 年間における財政収支見込を下記の通り見直し、試算しています。(グラフの年度の下に基金残高を表示)

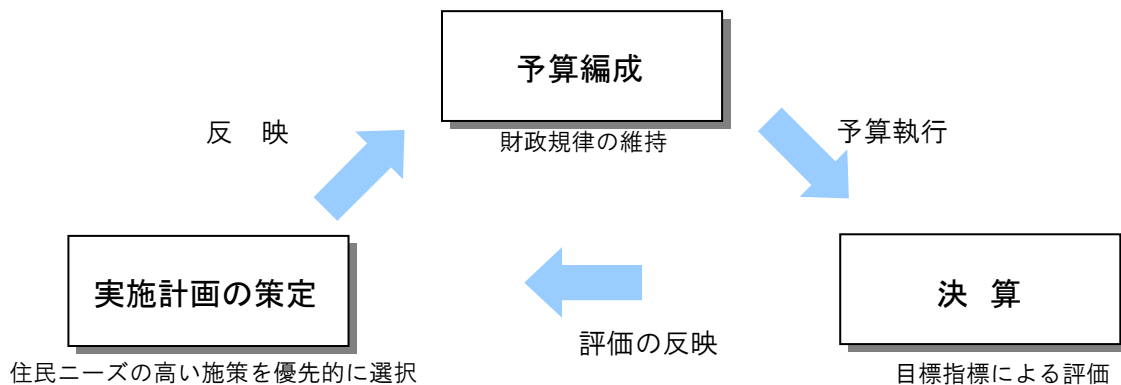
人口減少・高齢化が進行する中、社会保障費をはじめとする各種サービス利用費や社会資本整備等、多様化する住民ニーズへの対応が求められており、持続可能な財政運営に向けて取り組みます。



(2) 総合計画と予算の連動

総合計画は、市政運営のための長期的な指針として、すべての基礎となるものです。毎年度の予算は総合計画に基づく実施計画と連動する必要があります。

本計画では、行政サービスを効率的かつ効果的に実施するため、財政規律を保ちながら、選択と集中によって限られた予算を執行できる仕組みを構築します。



2 土地利用構想

(1) 土地利用の基本方針

規制するものはしっかり規制する、促進するものはしっかり促進するといった規制と促進の区分を明確にした上で、次の4つの方針を基本として、総合的かつ計画的な土地利用を推進します。

- ①「定住促進が可能となる土地利用」
- ②「日常生活に便利な土地利用」
- ③「自然と共生したゆとりある土地利用」
- ④「安全安心の暮らしを支える土地利用」

(2) 土地利用の考え方

市街地エリア

古くから加西の中心として発展してきた既成市街地とその周辺を市街地ゾーンとします。既成市街地では宿場町、門前町の面影を残す街並みを次世代に継承するとともに、住宅密集地としての住民のつながりを促進してその全体意思を反映した住環境を整備し、安全・便利で歩いて暮らせるまちづくりを進めます。また、その周辺では、新たな土地区画整理地区への住宅開発を促進するとともに、低・未利用地等の宅地化されていない土地の住宅開発を誘導するための周辺整備を行います。

ルールを定めて活用するエリア

中北部から中南部にかけて広がり、加西の景観を特徴づけている広々とした農地、農村集落等の田園ゾーンでは、地域産業の基盤である農業を維持促進します。農業生産者の担い手を確保し、地域住民の定住を促進するため、特別指定区域制度や地区計画等、農村でも住宅が建設できるルールを活用した住宅の確保を推進します。

また、計画的に整備された産業団地や新エネルギーの開発適地としての特定用地を交通結末点周辺に定め、環境や景観、歴史文化遺産の活用に配慮した産業集積を推進します。

開発をしないエリア

北部の山林地域及び南部の丘陵地等の自然ゾーンでは、動植物の生息に適した自然環境を保全するとともに、人と自然が共生する里地里山の整備を進めます。森林が本来もっている機能を回復して、そこを源流とする河川流域への水害を未然に防ぐとともに、子どもたちの環境教育でも活用します。また、山間に点在する歴史文化遺産や地域資源の活用を推進します。

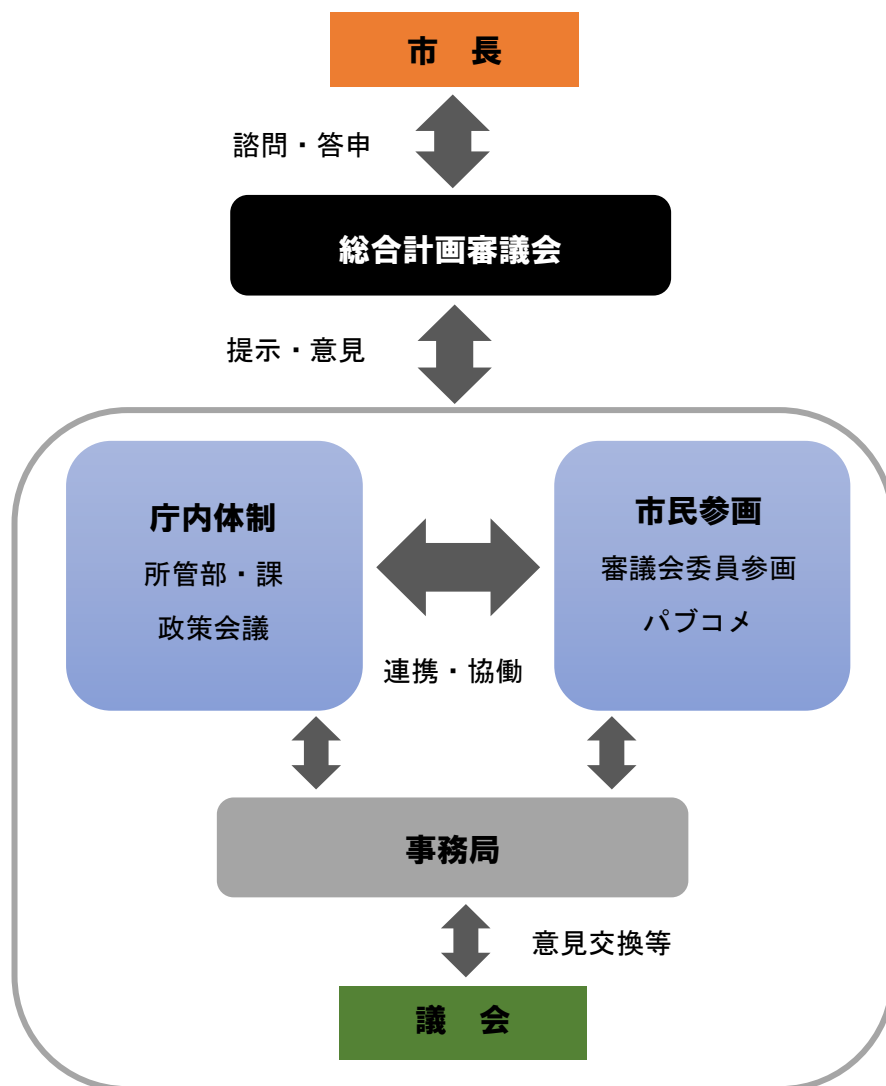
3 推進体制

(1) 協働による計画推進

あらゆる機会を通じ、住民・関係団体・事業者等の積極的な参加・参画を促進するとともに、住民と行政との適切な役割分担、広域による対応等も含めた、協働によるまちづくりを進め、より効果的な計画推進を図ります。

(2) 庁内体制

各部署間、職員間における情報共有、適切な連携により施策を推進します。また、より効果的・効率的に施策を推進していくため、重点プロジェクトや分野横断的な施策については、推進組織の立ち上げ等を検討するとともに、定期的な行政組織のあり方の検証と必要に応じた組織の再編成を行います。



4 進捗管理

(1) P D C Aサイクルによる進捗管理

本計画を着実に推進していくため、施策・事業の実施状況から目標の検証を行うとともに、P D C Aサイクルに基づく進捗管理により、効果的・効率的な行政運営につなげます。

また、計画の進捗管理にあたっては、住民等の参画により透明性や客観性を高めることで、計画の実効性を確保します。

(2) 予算・財政計画との連動

施策や事業の優先度の決定、実施手法の検討等を行い、基本計画と財政収支計画との連動や実施計画と予算との連動を図りながら、戦略的に財源や資源の適正配分等の取り組みを推進します。

5 評価・見直し

本計画の評価については、加西市行財政改革プランに基づき、毎年度評価・検証を行っており、事務事業の改善につなげています。

さらに、加西市地域創生戦略の評価指標（K P I）等の検証による見直しを含め、外部委員等も交えた評価・検証体制の充実を図ることにより、P D C Aサイクルでのチェック機能の徹底化を進め、進捗管理を適正に行うものとします。

資料編

◇ 諮問書

諮問第 1 号

加西市総合計画審議会

第 5 次加西市総合計画後期基本計画の策定について（諮問）

総合的かつ計画的な行政運営を図るため、第 5 次加西市総合計画（基本構想・基本計画）を平成 23 年 10 月に定め、その推進を図ってきました。

その後、人口減少の加速、東日本大震災をきっかけとした安心安全への意識の高まりに加え、経済社会動向の変動などに即応した取り組みを充実させる必要があります。

つきましては、総合計画の進捗を踏まえながら後期基本計画として今後 5 年間のまちづくりの基本方向を明らかにしたいので、加西市総合計画審議会設置要綱第 2 条の規定により諮問します。

平成 28 年 1 月 16 日

加西市長 西 村 和 平

◇答申書

平成 28 年 2 月 18 日

加西市長 西 村 和 平 様

加西市総合計画審議会
会長 牧 瀬 稔

第 5 次加西市総合計画・後期基本計画の策定について（答申）

平成 28 年 1 月 16 日付諮問第 1 号をもって諮問のありました第 5 次加西市総合計画後期基本計画（案）について、慎重に審議した結果、下記の通り答申します。

記

- 1 加西市に新しい住民を呼び込むためには、若者の転入出の原因を調査分析のうえ、仕事、住宅、教育、コミュニティなど基本的な生活基盤の魅力を高める不断努力の積み重ねが求められます。
5 万人都市再生に向けて、現代の若い世代のライフスタイルや嗜好にマッチした魅力を充実させるとともに、まずは現在居住している人々にとって住みやすいまちとし、進学等でまちを離れた人も回帰するなど、住み続ける人々を確保することが必要です。
- 2 特徴あるものづくり産業の集積、優れた特産物を育む農業の取組み、多彩な内外の交流がありグローバルに開かれたまち、充実した子育て支援環境など、加西市の持つ魅力の積極的な情報発信に努め、市内外の認知度を高める必要があります。そして、一層地域の活力を高めるために、素材をさらに発掘し、組み合わせ、磨きあげ、魅力を高める取組みを推進してください。
- 3 人口減少の克服は、今まで思いもよらなかったことにチャレンジするチャンスとも捉えることができます。多様な家族形態が定着するなか、人財を有効に活用し、

コンパクトなまちの住民一人ひとりに目を向けていくことが大切です。

また、元気な住民がいつまでも活躍できるまちづくりをすること、あらゆる場面で高齢者の力を活かせる仕組みをつくることは、美しい加西、優しい加西、活力のある加西にもつながると考えます。

- 4 潜在する地域の才能を掘り起こし、新たな地域創造につなげていく人材を育成していく必要があります。日々の住民の生活に人々を引き付ける地域資源は隠れています。

外からの評価ではなく、自分たちで資源を再発見しようという機運を芽生えさせ旗を振り続けるには、特に中間支援を行う人材の厚みを増すことが重要です。

- 5 上記の4つの課題解決にあたって、加西市では、多様なくらしや夢がかなえられ、今までにない「未来の田舎（ミライナカ）」を創造することが求められます。そのためには、「加西の良さ」について市民の共通意識が大切であり、加西の良さとは何か、加西の魅力とは何か、住民が一言で言えるようになるまで理解を深めることが必要です。

また、加西市において「未来の田舎（ミライナカ）」を見える形にして実感できるように、具体化に向けたリーディング・プロジェクトの取組みを求めます。

さらに、千三百年の歴史と伝統文化にふれながら、加西の自然の中で遊び、特産の農産物を味わうことができ、子育てをすることに愛着と誇りを感じる住民が増えるようなまちづくりを進めてください。

以上

(付帯意見)

- ・ 計画策定にあたっては、審議会等での議論を充実させるため、会議開催回数等、必要な意見交換の機会確保について配慮を欠くことのないようお願いします。
- ・ 計画の実行段階での施策の評価検証は、外部の有識者等の意見も取入れ、PDCAサイクルの徹底を図るようにしてください。

◇総合計画審議会設置要綱

加西市総合計画審議会設置要綱

昭和60年10月1日

訓令第21号

庁中一般

改正 平成元年4月1日訓令第15号
平成12年2月24日訓令第5号
平成12年7月1日訓令第34号
平成22年9月9日訓令第26号

(設置)

第1条 加西市総合計画の策定を図るため、加西市総合計画審議会(以下「審議会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、加西市総合計画の策定に必要な事項について審議し、その結果を市長に答申するものとする。

(組織)

第3条 審議会は、委員30名以内で組織する。

- 2 委員は、市長が委嘱又は任命する。
- 3 委員に事故があるときは、その職務上の代理者が委員の職務を行うことができる。

(任期)

第4条 委員の任期は、審議会の答申が終了するまでとする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、会長が招集し、会長がその会議の議長となる。

2 審議会は、委員の半数以上のものが出席しなければ開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数をもつて決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

第7条 審議会は、必要に応じ、部会を置くことができる。

2 部会の運営について必要な事項は、会長が定める。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、企画担当課において処理する。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、審議会の運営その他必要な事項は、会長が定める。

附 則

1 この訓令は、公布の日から施行する。

2 第6条第1項の規定にかかわらず最初の審議会は、市長が招集する。

3 昭和50年10月1日から施行の加西市基本構想策定審議会設置要綱は廃止する。

附 則 (平成元年4月1日訓令第15号)

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則 (平成12年2月24日訓令第5号)

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則 (平成12年7月1日訓令第34号)

この訓令は、平成12年7月1日から施行する。

附 則 (平成22年9月9日訓令第26号)

この訓令は、平成22年9月9日から施行する。

◇総合計画審議会委員

(五十音順)

氏名	役職	団体名等	備考
おおふじ ともや 大藤 友也	会長	加西市連合PTA	
かながわ まさのり 金川 雅則	センター長	兵庫みらい農業協同組合 加西営農生活センター	
かまさか あきひろ 釜坂 明廣	区長会長	平成27年加西市区長会	
しもえ かずまさ 下江 一将	隊員	地域おこし協力隊	
たにかつ きみよ 谷勝 公代	会長	加西市連合婦人会	
つねみね はちろう 常峰 八郎	会長	宇仁地区ふるさと創造会議 (宇仁郷まちづくり協議会)	
にしわき ありさ 西脇 亜李沙	会長	連合保護者会	
はまもと やすひで 濱本 泰秀	副会頭	加西商工会議所	
むらかみ なおみ 村上 尚美	代表	市民団体MORE地球家族	
よしだ ひろし 吉田 廣	会長	加西市老人クラブ連合会	副会長
まきせ みのる 牧瀬 稔	上席主任研究員	一般財団法人地域開発研究所	会 長

◇策定の経過

(1) **総合計画審議会**

平成 28 年 1 月 16 日 第 1 回 諮問、策定の進め方、前期計画の評価・検証、
素案の検討

平成 28 年 2 月 18 日 第 2 回 案の検討、委員意見集約、答申

(2) **パブリックコメント**

平成 28 年 1 月 19 日～2 月 12 日

(3) **議会関係**

平成 28 年 2 月 2 日 第 5 次加西市総合計画後期基本計画に関する勉強会

平成 28 年 2 月 29 日 議会上程（3 月議会可決）

(4) **政策会議（市長以下幹部職員で構成）**

平成 27 年 11 月 30 日 第 1 回 策定方針の検討

平成 27 年 12 月 21 日 第 2 回 総合計画見直し概要の検討

平成 28 年 1 月 12 日 第 3 回 第 1 回審議会案の調整

平成 28 年 2 月 15 日 第 4 回 第 2 回審議会案の調整

平成 28 年 2 月 22 日 第 5 回 後期基本計画提出議案の調整

第5次加西市総合計画 後期基本計画
(平成28年度～平成32年度)

発行 平成28(2016)年3月

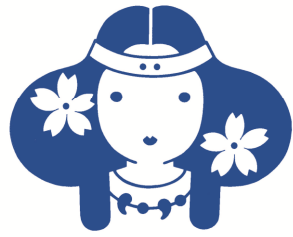
編集 加西市ふるさと創造部人口増政策課

〒675-2395 加西市北条町横尾1000番地

TEL : (0790) 42-1110 (代)

FAX : (0790) 43-1800

URL : <http://www.city.kasai.hyogo.jp>



花・ゆめ・根日女
KASAI CITY